Panasonic®

取扱説明書

CD ステレオシステム

品番 SC-PMX100

安全上のご注意
準備する
ネットワーク
Bluetooth®
CD/USB
iPhone/iPad/iPod
ラジオ
使いこなす
必要なとき

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(3 ～ 5 ページ) を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

RQT9990-1S

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください。(⇨3 ～ 5 ページ)

準備する

付属品 6
リモコンの準備 6
CD の取り扱い 7
本機のお手入れ 7
廃棄 / 譲渡するとき 7
本機の設置と接続 8
各部の名前と働き 10

ネットワーク

ネットワークに接続する 11
- 無線 LAN 接続を行う 11
- 有線 LAN 接続を行う 14

ネットワークの音楽を楽しむ 16
- ネットワーク接続した機器の音楽を再生する 16
- 配信サービスの音楽を再生する 17
- ネットワークの音楽の再生操作をする 17

複数のスピーカーで音楽を楽しむ 18

Bluetooth®

Bluetooth® を楽しむ 19
- 手動で登録・接続する 19
- ワンタッチ (NFC) 接続する 19
- 機器を再生する 20

CD/USB

CD や USB の音声を聴く 21
- 音源の準備をする 21
- 音源を再生する 21

iPhone/iPad/iPod

iPhone/iPad/iPod の音楽を聴く 24
- 音楽を本機で聴く 24
- 充電する 24

AirPlay を楽しむ 25

ラジオ

ラジオを聴く 26
- 放送局を記憶させて聴く 26
- 周波数を手動で合わせて聴く 26

使いこなす

外部機器の音声を聴く 28
- 音声入力 28
- デジタル音声入力 28

音質・音場効果を楽しむ 29
タイマーを使う 30
- 時計を合わせる 30
- おやすみタイマー 30
- おめざめタイマー 30

便利な機能 31

必要なとき

対応メディアについて 35
こんな表示が出たら 36
故障かな！？ 38
無線機能使用上のお願い 41
仕様 42
著作権など 43
保証とアフターサービス (よくお読みください) 45
さくいん 47

本機のサポート情報について
ソフトウェアの更新など、最新のサポート情報は、下記サポートサイトをご確認ください。
http://panasonic.jp/support/audio/

本書内の表現について
- 本書内で参照していただくページを (⇨ ○○) で示しています。
- 本書では、本体およびリモコンの表示を [○○] で示しています。
- 本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています。

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

⚠警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

電源プラグを抜く

異常があったときには、電源プラグを抜く

- **煙が出たり、異常なにおいや音がする**
- **音声が出ないことがある**
- **内部に水や異物が入った**
- **電源プラグが異常に熱い**
- **本体に変形や破損した部分がある**

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない
(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)

傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電池は誤った使いかたをしない

- **指定以外の電池を使わない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **⊕と⊖を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **⊕と⊖を逆に入れない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

接触禁止

感電の原因になります。

警告

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで本機を使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から 22 cm 以内で本機を使用しない

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

病院内や医療用電気機器のある場所で本機を使用しない

本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

注意

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。
- 天面、側面、背面の通気孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。
- 設置・工事は販売店にご相談ください。

スピーカーは付属のものを接続する

付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

ヘッドホン接続前に、音量を下げる

音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。
- 音量は少しずつ上げてご使用ください。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。
- ディスク、USB デバイスや iPhone/iPad/iPod は、保護のため取り出し、または取り外しておいてください。

CD トレイに指をはさまれないように注意する

指はさみ注意

けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

本機のアンテナを目や顔に近づけない、人に向けない

アンテナの先端に接触して、けがの原因になることがあります。
- アンテナを使用するときは、十分注意してください。

本機のアンテナをつかんで持ち上げたり、運んだりしない

落下すると、けがの原因になることがあります。
- また、製品の故障の原因にもなりますので、ご注意ください。

付属品

付属品をご確認ください。

□ FM 簡易型アンテナ (1 本)
品番：RSAX0002

□ AM ループアンテナ (1 個)
品番：N1DYYYY00011

□ 電源コード (1 本)
品番：K2CA2YY00269

□ スピーカーコード (2 本)
品番：REE1840

□ リモコン用乾電池
(単3形、1本)

□ リモコン (1 個)
品番：N2QAYB001021

- 付属品·別売品 (⇨ 7) の品番は、2015 年 3 月現在のものです。変更されることがあります。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。

リモコンの準備

■ 乾電池の入れかた

②ふたを閉めるときは、
こちら側から先に入れる

①ふたのふち
を押しなが
ら開ける

⊕⊖を確認
(単 3 形乾電池)

電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。

■ 使用上のお願い

受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。

■ 本体をラックに入れて使用するとき

ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

お知らせ

- リモコンの電池を交換すると、リモコンモードが 1 になることがあります。(⇨ 34)

付属品や別売品 (⇨ 7) は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。

http://jp.store.panasonic.com/
パナソニックグループのショッピングサイト

パナソニックスマートアプリについて
パナソニック商品を、スマートフォンで快適に使うための統合アプリです。

- このアプリを使うと、本機にスマートフォンをタッチする等の方法で簡単にご愛用者登録ができます。
- スマートフォンに取扱説明書を簡単にダウンロードできます。

パナソニックスマートアプリのダウンロード方法や使い方はこちら
http://panasonic.jp/pss/ap/

CD の取り扱い

■ **取り扱い上のお願い**

CD そのものの破損や、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

–鉛筆やボールペンなどで字を書かない
–ディスククリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
–紙やシール、ラベルを貼らない
–傷つき防止用のプロテクターなどを使わない
–シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わない

持ちかた

再生面（光っている面）には触れない

汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

再生面（光っている面）　内側から外側へ

つゆがついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、つゆがついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

CD を良い音でお楽しみいただくために

別売の専用クリーナーで時々掃除されることをお勧めします。

推奨品 : CD レンズクリーナー（品番 : RP-CL510）

本機のお手入れ

センターユニット：

● 電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。
● 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布で軽くふいてください。

スピーカー：

● 乾いたきめの細かい布（眼鏡ふきなど）でふいてください。

共通：

● ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
● 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する情報が記録されています。廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、お買い上げ時の設定に戻して、記録された情報を必ず消去してください。

● 本機を廃棄する場合は、地方自治体の条例に従ってください。

(⇨ 38,「本機の設定をお買い上げ時の状態（工場出荷設定）に戻すには」)

● 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

本機の設置と接続

■ 本機の設置

左右のスピーカーは、 ツィーターが内側になるように、 スピーカーネットを外して確認してから設置してください。

CD ステレオシステム（SC-PMX100）

- センターユニットとスピーカーは 1 cm 以上離してください。
- 本機を移動させるときは、CD を取り出し、iPhone/iPad/iPod や USB デバイスは取り外してから電源を切って移動してください。
- 付属のスピーカー以外はご使用になれません。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。

■ よりよい音響効果を得るために

音はスピーカーの置きかたによって変わります。例えば、床の上や部屋の隅に置くと、低音が増します。
下記を参考に、よりよい音質をお楽しみください。

- 平らで安定した場所に設置する
- 左右のスピーカー周囲の様子をできるだけ同じにする
- スピーカーは壁から離す
- 硬い壁やガラス窓には厚地のカーテンなどを掛けて反射を少なくする
- 左右のスピーカーの間隔を広げる
- 後ろの壁から 5 cm 以上離して設置する
- 鑑賞時の耳の位置と同じくらいの高さにスピーカーを設置する

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。適度の音量にして隣り近所へ配慮しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

■ スピーカーについて

- 本機のスピーカーは防磁設計ではありません。本機の近くに時計や磁気カード（クレジットカード）を置いたり、本機をテレビやパソコンの近くに置かないでください。
- 大きな音量で連続使用しないでください。
スピーカー特性の劣化が起こったり、スピーカーの寿命が極端に短くなったりすることがあります。
- 通常の使用時でも音がひずんだときは、音量を下げてご使用ください。
（音量を下げないと、スピーカーの破損の原因になることがあります。）

■ 長期間使用しないときは

電源を切った状態でも電力を消費しています。(⇨ 42)
節電のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをお勧めします。
時計を設定してあるときは、再設定が必要になります。(⇨ 30)

❶ 右スピーカーにスピーカーコードを接続する

①つまみを回してゆるめ、穴に芯線を差し込む

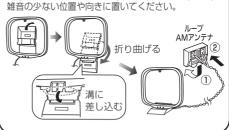
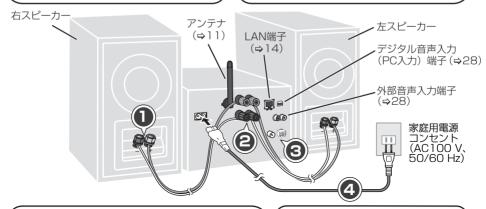
②つまみを締める

③左スピーカーも同様にして接続する

スピーカーコードを
ショートさせないでください。
（⇨下記 お願い ）

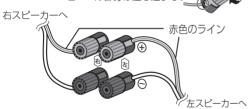
❸ FM 簡易型アンテナと AM ループアンテナを接続する

（FM 簡易型アンテナ）
電源を入れたあとラジオの周波数を合わせて（⇨26）、雑音の少ない位置で壁や柱にテープで留めてください。

（AM ループアンテナ）
電源を入れたあとラジオの周波数を合わせて（⇨26）、雑音の少ない位置や向きに置いてください。

❷ 本体に左右のスピーカーコードを接続する

①すき間が見えるまでつまみを回して
ゆるめ、すき間に芯線を差し込む

②つまみを締める

ビニール部分は差し込まない

❹ 電源コードを接続する

最後に接続します。

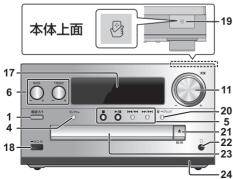
①本体に電源コードを接続する

②コンセントに電源プラグを差し込む
しばらく待ってから電源を入れてください。

お願い

スピーカーコードをショートさせないでください。回路が破損するおそれがあります。

各部の名前と働き

リモコン

1　[電源][電源 ⏻/I]: 電源を入 / 切する
2　数字ボタン : 番号を選ぶ
- 2桁の番号を選ぶには [≧10] を押してから数字ボタンを押す
（例 :「12」は [≧10] → [1] → [2]）
- 3桁の番号を選ぶには [≧10] を2回押してから数字ボタンを押す
（例 :「124」は [≧10] → [≧10] → [1] → [2] → [4]）

3　[消去]: プログラム曲を消去する
4　[Bluetooth][CD/USB][ラジオ、EXT-IN]
[セレクター]:
音源を切り換える
(⇨ 11, 19, 21, 24, 26, 28)
5　再生操作ボタン
6　[D.BASS][サウンド][プリセット EQ]:
音質・音場効果ボタン (⇨ 29)
BASS・TREBLE つまみ :
低域・高域を調整する (⇨ 29)
7　[再生メニュー]: 再生メニュー画面に入る
8　[表示切換]: 表示を切り換える
9　[スリープ][⏲、再生][時計 / タイマー]:
時計・タイマー操作ボタン
10　[プログラム]: プログラムプレイを入 / 切する
11　[+ 音量 –]、音量つまみ : 音量を調節する
0(最小) ～ 50(最大)
12　[消音]: 一時的に消音する
- 解除するには、もう一度押す／音量を調節する／電源を切 / 入する

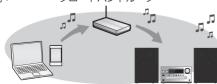
13　[設定]: 本機を設定する
14　[ラジオメニュー]: ラジオメニュー画面に入る
15　[▲][▼][◀][▶][決定]:
メニューや設定画面などで選んで決定する／アルバムを選ぶ
16　[ディマー]: 表示部の明るさを調節する
- 押すと表示部が暗くなります。
もう一度押すと元の明るさに戻ります。

17　表示部
18　USB 端子 :
USB デバイスを接続する (⇨ 21)
iPhone/iPad/iPod を接続する (⇨ 24)
19　[NFC]:NFC タッチエリア (⇨ 19)
20　[Bluetooth – ペアリング]:
- Bluetooth® を音源に選ぶ (⇨ 19)
- Bluetooth® 機器とペアリングする / 解除する (⇨ 19)

21　[▲ 開 / 閉]:CD トレイを開 / 閉する
22　ヘッドホン端子
23　CD トレイ部
24　リモコン受信部
受信範囲　正面…7 m 以内
　　　　　左右…各約 30°
- 距離と角度はおよその数値です。
- 受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。

ネットワークに接続する

本機をネットワークに接続することにより、Qualcomm® AllPlay™、AirPlay や DLNA 機能を利用して iOS 機器（iPhone、iPod touch、iPad）、Android™ 機器やパソコン（Mac/Windows）にある音楽などを本機のスピーカーからお楽しみいただけます。
AllPlay、AirPlay や DLNA 機能をご利用になるには、本機と iOS 機器、Android 機器やパソコンが、ブロードバンドルーターを通じて同じネットワークに接続されている必要があります。

例：

本機とブロードバンドルーターとの接続は、有線 LAN 接続と無線 LAN 接続（Wi-Fi®）の両方に対応しています。
ネットワーク接続時の安定した再生のためには有線 LAN 接続をお勧めします。

- ネットワーク設定が完了したら本機のソフトウェアを更新してください。(⇨ 32)

ネットワーク接続方法を以下から選んでください。

無線 LAN 接続

接続方法 1：「WAC（Wireless Accessory Configuration）を使って接続する」(⇨ 12)

- iOS7.0以降を搭載したiPhone/iPad/iPod touch または OS X 10.9 以降で AirPort Utility 6.3.1 以降を搭載した Mac をお使いの場合、Wi-Fi 設定情報を本機に送って無線 LAN 接続することができます。

接続方法 2：「インターネットブラウザを使って接続する」(⇨ 12)

- スマートフォンやパソコンのインターネットブラウザから本機のネットワーク設定をすることができます。

接続方法 3：「WPS（Wi-Fi Protected Setup™）を使って接続する」(⇨ 14)

- お使いの無線ブロードバンドルーターが WPS に対応している場合、WPS ボタンを押すか、PIN コードを入力することで本機と無線 LAN 接続することができます。

有線 LAN 接続

接続方法 4：「LAN ケーブルを使って接続する」(⇨ 14)

- 有線 LAN 接続をすることで、安定した再生を行うことができます。

お知らせ

- ネットワーク設定は、時間がかかると中止されることがあります。その場合、設定をやり直してください。
  無線ネットワークの接続や設定操作を中止するには [■] を押してください。
- 本機は 2.4 GHz 帯と 5 GHz 帯の周波数帯で使用することができます。ネットワークへの接続は、802.11n（2.4 GHz/5 GHz 同時使用可）のブロードバンドルーターの使用をお勧めします。

無線 LAN 接続を行う

準備する

- 本機を無線ブロードバンドルーターのなるべく近くに置く
- LAN ケーブルを取り外す
  （LAN ケーブルを接続したままだと、Wi-Fi 機能が無効になります）
- 本機背面のアンテナを立てる

アンテナに無理な力をくわえたり、アンテナを立てた状態で前方・後方に倒さないでください。
また、アンテナをつかんで本機を持ち運ばないでください。アンテナが破損するなど故障の原因になります。

1 **[電源] を押して電源を入れる**

2 **接続方法 1、接続方法 2 または接続方法 3 に進む (⇨ 12, 14)**

接続方法 1:
WAC（Wireless Accessory Configuration）を使って接続する

● 説明には iPhone を使用しています

1 **iPhone をご家庭でお使いの無線ネットワークに接続する**

2 **[ラジオ、EXT-IN] を数回押して「Network」を選ぶ**

● 表示部に「WAC Mode」が表示された場合、⇨ 手順 3 へ

– 表示部に「Network」と表示される場合は、ネットワークリセットを行ってください。(⇨ 34)

3 **iPhone の「設定」から Wi-Fi 設定画面を開く**

4 **「新しい AIRPLAY スピーカーを設定 ...」から「Panasonic PMX100 □□□□□□」を選ぶ**

● 「□」は機器によって表示される固有の番号を表しています。

5 **iPhone の「AirPlay 設定」で設定情報を入力する**

● 初期設定のスピーカー名は「Panasonic PMX100」※と表示されます。

※ スピーカー名を変更する場合は、新しい名前を入力してください。本機との接続が完了したあとでも、名前を変更することができます。(⇨ 15, 「詳細な接続設定を行う」)

● 「スピーカーのパスワード」から本機と接続するときのパスワードを設定することができます。（設定したパスワードはインターネットブラウザを使って接続するときに必要になります。）

6 **「次へ」を押して設定を完了する**

● 接続が完了すると、表示部に「Success」と表示され、“W” が点灯します。

接続方法 2:
インターネットブラウザを使って接続する

IOS 機器、Android 機器、パソコンなどから直接本機に接続し、ネットワーク名（SSID ※）、パスワードなどのネットワーク設定を行います。

※ SSID : 無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合通信可能になります。

● 説明にはスマートフォンを使用しています

1 **[ラジオ、EXT-IN] を数回押して「Network」を選ぶ**

2 **[設定] を数回押して「Net Setup」を選び、[決定] を押す**

3 **[▲][▼] を押して「Manual」を選び、[決定] を押す**

4 **[◀][▶] を押して「OK?　Yes」を選び、[決定] を押す**

● 「決定」を押すと以前に本機で設定していたネットワーク設定が消去されます。

「Setting」が点滅します。

5 **接続機器の「設定」から Wi-Fi 設定画面を開く**

6 **「PMX100 □□□□□□_AJ」を選び、本機と接続する**

● 「□」は機器によって表示される固有の番号を表しています。

● 機器によっては「PMX100 □□□□□□_AJ」が Wi-Fi ネットワークリストに表示されるまでに 1 分ほどかかる場合があります。

● 接続機器の DHCP が有効になっていることを確認してください。

- iOS 機器の場合は、インターネットブラウザにネットワーク設定画面が自動で表示されます。
- iOS 機器以外の場合は、インターネットブラウザを開き、画面を更新してネットワーク設定ページを表示してください。
  – ネットワーク設定ページが表示されない場合は、アドレス欄に下記の URL を入力してください。
  http://172.19.42.1/

7 「 」を押して、言語欄から「日本語」を選ぶ

- 表示画面の言語が日本語に切り換わります。

8 ネットワーク上で識別できるように本機に名前をつけ、「次」を選ぶ

- 入力した名前は本機の名前としてネットワーク上に表示されます。
- 設定した名前は、英数字（32 文字）のみ正しく表示されます。本機で対応していない文字は、異なる表示になる場合があります。
- 名前は「次」を押したときに設定されます。
- 設定した名前はネットワーク設定完了後に変更することができます。(⇨ 15, 「詳細な接続設定を行う」)

9 本機のセキュリティを設定する

AirPlay のパスワードを設定するには

① 「する」を選び、「次」を選ぶ

② パスワードを設定し、「次」を選ぶ

- 設定したパスワードは次回インターネットブラウザを使って接続するときに必要になります。
- ネットワーク設定の初期化を行うとパスワードは消去されます。(⇨ 34)

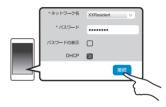
パスワードを設定しない場合

「しない」を選び、「次」を選ぶ

- パスワードはネットーワーク設定完了後に変更することができます。(⇨ 15, 「詳細な接続設定を行う」)

10 接続するルーターのネットワーク名（SSID）を選び、パスワードを入力する

- 接続するルーターのネットワーク名（SSID）、パスワードを確認してください。
- SSID やパスワードはルーターの背面に記載されていることもあります。詳しくはルーターの説明書などをご覧ください。
- 「ネットワーク名」欄を選ぶとネットワーク名の一覧が表示されます。
- 「パスワード」欄の入力文字を表示するには、「パスワードの表示」を選んでください。
- ネットワークの詳細設定が必要な場合は、DHCP を無効にしてください。
  – IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、DNS などの設定をすることができます。

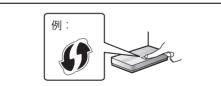
11 「接続」を選び、ネットワーク設定を終了する

- 接続が完了すると、表示部に「Success」と表示され、“W”が点灯します。
  – 「Fail」と表示される場合は、[決定] を押したあと、無線ネットワークのパスワードや設定を確認し、手順 1 からやり直してください。
- 機器によっては接続完了画面が表示されないことがあります。

12 手順 6 で設定した接続機器の接続先が元の接続先（ご利用中の SSID）に戻っているか確認する

お知らせ

- ブラウザーの設定で、Java Script と Cookie を有効にしてください。
- パスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任は負いません。

ネットワーク

接続方法 3:
WPS（Wi-Fi Protected Setup™）を使って接続する

WPS 方式に対応している無線ブロードバンドルーターには WPS マークがあります。

1 [ラジオ、EXT-IN] を数回押して「Network」を選ぶ

2 「WPS Push」モードに移行するには

① [設定] を数回押して「Net Setup」を選び、[決定] を押す
「WPS Push」が表示されます。
② [決定] を押す

- 本機の[セレクター]と[▶▶/▶▶I]を4秒以上押したままにすることで「WPS Push」モードに移行することもできます。

「WPS」が点滅します。

3 無線ブロードバンドルーターの WPS ボタンを押す

- 接続が完了すると、表示部に「Success」と表示され、“W”が点灯します。
  – 時間内に接続できなかった場合、表示部に「Fail」と表示されます。手順 1 からやり直してください。それでも「Fail」と表示される場合は、別の接続方法をお試しください。

4 [決定] を押して設定を終了する

■ PIN コード方式のとき

ルーターの説明書などで、PIN コードの入力方法を調べておいてください。

1 [ラジオ、EXT-IN] を数回押して「Network」を選ぶ

2 「WPS PIN」モードに移行するには

① [設定] を数回押して「Net Setup」を選び、[決定] を押す
② [▲][▼] を押して「WPS PIN」を選び、[決定] を押す

- 本機の[セレクター]と[I◀◀/◀◀]を4秒以上押したままにすることで「WPS PIN」モードに移行することもできます。

8 桁の PIN コードが表示されます。

3 パソコンなどからルーターに接続し、手順 2 で表示された PIN コードを 2 分以内に入力する

お知らせ

- 一度「WPS PIN」モードに移行すると、WPS ボタンでの設定ができなくなります。WPS ボタンを押して接続する場合は、本機の電源を切 / 入してから設定をやり直してください。
- 無線ブロードバンドルーターによっては他の無線機器の接続が一時的に切断されることがあります。
- 無線ブロードバンドルーターの使い方など詳細については、ルーターの説明書をご覧ください。

有線 LAN 接続を行う

接続方法 4:
LAN ケーブルを使って接続する

例：

ブロードバンドルーターなど

10BASE-T/100BASE-TX
LAN

LAN ケーブル
（市販のものをご使用ください）

本機

1 本機の電源コードを抜く

2 本機とブロードバンドルーターなどを LAN ケーブルで接続する

3 本機に電源コードを接続し、[電源] を押して電源を入れる

“W”が点灯すればお使いになれます。

お知らせ

- カテゴリー５（CAT5）以上の LAN ケーブルのご使用をお勧めします。
- LAN ケーブルの抜き差しは電源コードを取り外した状態で行ってください。
- LAN ケーブル以外（電話のモジュラーケーブルなど）を挿入しないでください。故障の原因になります。
- LAN ケーブルを取り外すと、ネットワーク設定 (⇨ 15) が初期化されます。その場合は設定をやり直してください。
- LAN ケーブルを接続すると、Wi-Fi 機能が無効になります。

詳細な接続設定を行う（必要な場合のみ）

AllPlay、AirPlay や DLNA 機能使用時に表示される本機の名前（デバイス名）やセキュリティ設定を変更できます。
お使いのネットワークで、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、DNS などに特別な設定を行っている場合、それぞれを設定できます。

本機の名前はアプリ「Panasonic Music Streaming」（バージョン 2.0.8 以降）の設定からも変更することができます。アプリの詳細については、下記のサイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/audio/app/

準備する
- 本機をネットワークに接続する (⇨ 11)
- 接続機器（パソコンなど）を本機と同じネットワークに接続する。
- 本機に割り当てられた IP アドレス (⇨ 33) を確かめてメモしておく

1 接続機器（パソコンなど）でインターネットブラウザを開き、アドレス欄に本機の IP アドレスを入力する

- 設定画面が表示されます。環境により、ブラウザに設定画面が表示可能になるまでに数分かかる場合があります。その場合再読み込みを行ってください。
- 接続機器（パソコンなど）を無線 LAN 接続している場合、本機の名前とセキュリティ設定のみ変更することができます。設定の変更を行ったあと、設定画面を閉じてください。
  – 本機の名前を変更するには、「変更」を選び新しい名前を入力してから「適用」を押してください。
  – 本機のセキュリティ設定を変更するには、AirPlay のパスワード設定から「変更」を押してください。
  すでに AirPlay のパスワードを設定している場合は、以前に設定したパスワードを入力してから、新しいパスワードを入力してください。
  パスワードを変更後、「適用」を押してください。

2 ネットワーク上で識別できるように本機に名前をつけ、「次」を選ぶ

- 入力する機器名の詳細については、「インターネットブラウザを使って接続する」(⇨ 13) の手順 8 を参照してください。

3 本機のセキュリティを設定する

- セキュリティ設定の詳細については、「インターネットブラウザを使って接続する」(⇨ 13) の手順 9 を参照してください。

4 設定画面の各項目を入力する

- ネットワークの詳細設定が必要な場合は、DHCP を無効にしてください。
  – IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、DNS などの設定をすることができます。

5 「接続」を選び設定を終了する

- 接続が完了すると、表示部に「Success」と表示されます。

ネットワークの音楽を楽しむ

ネットワーク接続している機器にある音楽やオンラインで配信されている音楽などを本機のスピーカーからお楽しみいただけます（ストリーミング）。

ネットワーク接続した機器の音楽を再生する

AllPlay や DLNA 機能を利用して、スマートフォンやパソコンなどの音楽を「Panasonic Music Streaming」（無料）などのアプリを使って本機から再生することができます。

例：Panasonic Music Streaming
- iOS 機器：App Store
- Android 機器：Google Play™

準備する
- 本機をネットワークに接続する (⇨ 11)
- 下記の機器を本機と同じネットワークに接続する
  – 「Panasonic Music Streaming」などのアプリをインストールした機器
  – 音楽ファイルが保存してある機器

- 説明には「Panasonic Music Streaming」アプリを使用しています

1 [電源] を押して電源を入れる
- 表示部に“W”が表示されていることを確認してください。
- “W”が表示されていない場合はネットワーク設定を確認してください。(⇨ 11)

2 「Panasonic Music Streaming」アプリを起動する
- アプリは常に最新バージョンをお使いください。

3 再生する音源を選択する
- 再生する音源を追加するには「+ ネットワーク上のソース」を押して音源となる機器を選択してください。
  – 追加された音源は 1 から順に番号付けされます。

4 再生する曲を選択する

5 「Select Speaker」で本機を選ぶ

例：

- 複数の AllPlay 対応スピーカーをお使いの場合は、各スピーカーから同時に音を出すことができます（グループ再生）。「GROUP」を選んでグループ再生するスピーカーを選んでください。
  – 個別の AllPlay 対応スピーカーから別々の曲を同時に再生することもできます。
  – 同時に再生できる AllPlay 対応スピーカーの数は使用環境によって異なります。
  – ひとつの AllPlay 対応スピーカーの電源を切ると、同じグループ内の他の AllPlay 対応スピーカーも再生を停止する場合があります。

お知らせ

- 本機の名前を設定していない場合、本機は「Panasonic PMX100」と表示されます。
- DLNA サーバー（Windows 7 以降を搭載したパソコンやスマートフォンなど）の音楽を再生する場合は、Windows Media® Player やスマートフォンなどのライブラリにコンテンツやフォルダを追加してください。
- Windows Media® Player のプレイリストからは、ライブラリに保存されたコンテンツしか再生できません。
- 本機が DLNA のスピーカーに選択された場合（ ）：
  – 本機の音量ボタンではアプリ画面の音量が調節できないことがあります。
  – 接続機器の再生画面に表示される再生コントロールバーで操作できない場合があります。
  – AllPlay 対応スピーカーで設定されていた音量は適応されません。
  – 本機が他の機器と接続された場合、音源は新しく接続された機器に変更されます。それまで接続していた機器の再生が続けられる場合があります。
- 本機が対応しているファイル形式については、「仕様」(⇨ 42) を確認してください。
  – お使いの DLNA サーバーが対応していない形式のファイルは再生できません。
- コンテンツや接続機器によっては、再生できないことがあります。
- 電源を切るときは再生を停止してください。

「Panasonic Music Streaming」アプリの操作や画面表示などは改善のために更新、変更される場合があります。最新の情報については下記のサイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/audio/app
その他のアプリについては下記のサイトをご覧ください。
http://www.panasonic.com/global/consumer/homeav/allseries/service/

配信サービスの音楽を再生する

本機はいくつかの音楽配信サービスに対応しています。動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。
http://www.panasonic.com/global/consumer/homeav/allseries/service/

準備する
- 対応アプリがインストールされた機器を本機と同じネットワークに接続する
（インターネットに繋がったネットワークに接続してください。）

1 [電源] を押して電源を入れる

- 表示部に“W”が表示されていることを確認してください。
- “W”が表示されていない場合はネットワーク設定を確認してください。(⇨ 11)

2 接続機器でアプリを起動し、再生する曲を選ぶ

3 「((▶))」から本機をスピーカーに選ぶ

- サービスによっては全画面表示にしないと「((▶))」が表示されない場合があります。
- 複数の AllPlay 対応スピーカーをお使いの場合は、同時再生をお楽しみいただけます。「Group」からグループ再生するスピーカーを選んでください。

お知らせ

- 本機の名前を設定していない場合、本機は「Panasonic PMX100」と表示されます。
- 音楽配信サービスを利用する場合は、登録 / 加入が必要な場合があります。
- 音楽配信サービスを利用する場合は、使用料金が発生します。
- 提供サービス、アイコンや仕様は変更されることがあります。
- 詳しくは各音楽配信サービスのホームページをご覧ください。

ネットワークの音楽の再生操作をする

準備する
- 本機をネットワークに接続する (⇨ 11)
- 本機をストリーミングする音楽のスピーカーに選ぶ (⇨ 16、左記)
  – 本機をストリーミングする音楽のスピーカーに選ぶと、セレクターが「Network」に切り換わります。

■ リモコンでの操作

停止	[■] を押す
一時停止	[▶/❚❚] を押す ● 再開するには [▶/❚❚] を押す
曲を飛ばす（スキップ）	[I◀◀][▶▶I] を押す
音量調整	[+ 音量 –] を押す

順不同で聴く（シャッフル）

1 [再生メニュー] を数回押して「Shuffle」を選び、[決定] を押す

2 [◀][▶] を押して入 / 切する

設定は接続機器の画面で確認してください。

繰り返し聴く（リピート）

1 [再生メニュー] を数回押して「Repeat」を選び、[決定] を押す

2 [◀][▶] を押して設定する

設定は接続機器の画面で確認してください。

お知らせ

- 接続しているアプリや DLNA 機器によっては、本機での操作ができない場合があります。

複数のスピーカーで音楽を楽しむ

「Panasonic Music Streaming」アプリ (⇨ 16) を使って本機の音源（ラジオ /CD/Bluetooth® 機器 / 外部音声入力 /USB デバイス / デジタル音声入力 / ネットワークの音楽）を他の AllPlay 対応スピーカーから出すことができます。

準備する

- 本機をネットワークに接続する (⇨ 11)
- 本機で再生できる音源を用意する（CD を入れるなど）
- 「Panasonic Music Streaming」アプリをインストールした機器と AllPlay 対応スピーカーを本機と同じネットワークに接続する

1 [電源] を押して電源を入れる

- 表示部に“W”が表示されていることを確認してください。
- “W”が表示されていない場合はネットワーク設定を確認してください。(⇨ 11)

2 「Panasonic Music Streaming」アプリを起動する

- アプリは常に最新バージョンをお使いください。

3 「Music Source」から再生する音源を選ぶ

- 接続機器に再生可能な音源のリストが表示されます。

4 選択した音源から再生する音楽などを選ぶ

- 接続機器が本機から音源の情報を読み取ります。
- 本機のセレクターが再生する音源に合わせて切り換わります。
- 音源によっては自動的に再生が始まります。再生リストが接続機器に表示されたら、再生する曲を選んでください。

5 本機の音楽を AllPlay 対応スピーカーから再生するには

① 「Select Speaker」を選んで「GROUP」を選ぶ

② AllPlay 対応スピーカーをグループに選ぶ

- 同時に再生できるAllPlay対応スピーカーの数は使用環境によって異なります。
- ひとつの AllPlay 対応スピーカーの電源を切ると、同じグループ内の他の AllPlay 対応スピーカーも再生を停止する場合があります。

お知らせ

- 本機の名前を設定していない場合、本機の名前は「Panasonic PMX100」と表示されます。
- 動画コンテンツを再生する場合、画像と音声が同期しない場合があります。
- 本機の音源を他のAllPlay対応スピーカーで８時間以上再生すると、AllPlay 対応スピーカーは自動的に再生を停止します。（AllPlay 対応スピーカーに関する仕様は予告なく変更される場合があります。）

Bluetooth® を楽しむ

Bluetooth® に対応した機器を本機に登録すると、機器の音楽などをワイヤレスで楽しむことができます。

- Bluetooth® 機器の詳細は、機器に付属の説明書もお読みください。
- NFC(近距離無線通信) 対応の Bluetooth® 機器をご使用の場合は、「ワンタッチ（NFC) 接続する」をご覧ください。

準備する

- 本機と Bluetooth® 機器の電源を入れ、機器を本機に近づける。
- Bluetooth® 機器の Bluetooth® 機能を有効にする。
- 本機と他の機器がすでにBluetooth®接続されている場合、その機器の Bluetooth® 接続を解除してください。

手動で登録・接続する

1 [Bluetooth] を押して「BLUETOOTH」を選ぶ

表示部に「Pairing」と表示された場合
⇨ 手順 4 へ

2 [再生メニュー] を押して「Pairing」を選び、[決定] を押す

表示部に「Pairing」と表示されます。

3 [◀][▶] を押して「OK? Yes」を選び、[決定] を押す

4 Bluetooth® 機器側で Bluetooth® の接続画面などを開き、「SC-PMX100」を選んで登録する

登録された機器名が表示部に数秒間表示されます。

お知らせ

- 本機の [Bluetooth - ペアリング] ボタンを押したままにすることで、登録待機状態にすることもできます。
- パスキーの入力を要求された場合は「 0000 」（ゼロ 4 つ）を入力してください。
- 登録できる Bluetooth® 機器は最大 8 台です。最大登録数を超えて登録すると、登録の古いものから上書き登録され、以前の登録が取り消されることがあります。この場合、登録をやり直してください。

ワンタッチ（NFC) 接続する

NFC 対応 Bluetooth® 機器 (Android 端末) のみ

NFC(近距離無線通信) 機能に対応した Bluetooth® 機器を本機にタッチするだけで、Bluetooth® 機器の登録から接続完了まで一度に行えます。

準備する

- Bluetooth® 機器側の NFC 機能を有効にする。
- Androidバージョンが4.1未満のBluetooth®機器の場合は、Google Play から専用アプリ「Panasonic Music Streaming」（無料）をダウンロードし、アプリを起動してください。
  – アプリの画面の指示に従って設定してください。
  – 専用アプリは常に最新バージョンをお使いください。

1 [Bluetooth] を押して「BLUETOOTH」を選ぶ

2 本機の NFC タッチエリア [NFC] に Bluetooth® 機器をタッチする (⇨ 10)

Bluetooth® 機器に報知音やメッセージ表示などの反応があるまで、機器を動かさないようにしてください。

Bluetooth® 機器の反応を確認後、機器を離してください。

- 接続が完了すると、登録された機器名が表示部に数秒間表示されます。
- 本体の NFC タッチエリアに Bluetooth® 機器をタッチしても接続できない場合は、Bluetooth® 機器の位置を変えてタッチしてみてください。また、専用アプリ「Panasonic Music Streaming」をダウンロードし、アプリを起動することで改善される場合があります。

お知らせ

- 他の NFC 対応機器を本機にタッチすると、その機器が Bluetooth® 接続されます。
  それ以前に接続していた機器は、自動的に接続が解除されます。
- 接続する機器によっては、再生が自動的に始まる場合があります。
- ワンタッチ（NFC) 接続は機器によって動作しない場合があります。

機器を再生する

1 [Ⓑ] を押して「BLUETOOTH」を選ぶ

表示部に「Ready」と表示されます。

2 Bluetooth® 機器側で Bluetooth® の接続画面などを開き、「SC-PMX100」を選んで接続する

登録された機器名が表示部に数秒間表示されます。

3 Bluetooth® 機器で音楽などを再生する

■ リモコンでの操作

停止	[■] を押す
一時停止	[▶/❚❚] を押す ● 再開するには [▶/❚❚] を押す
曲を飛ばす（スキップ）	[I◀◀][▶▶I] を押す
早送り / 早戻し（サーチ）	再生中 / 一時停止中に、[◀◀][▶▶] を聴きたい位置まで押したままにする

お知らせ

- 同時に接続できる Bluetooth® 機器の台数は 1 台です。
- 「BLUETOOTH」セレクターを選ぶと、本機は最後に接続していた Bluetooth® 機器と接続しようとします。（この時、表示部に「Linking」と表示されます）
- 本機と Bluetooth® 機器を接続し、本機のリモコンを操作する場合、Bluetooth® 機器が AVRCP(Audio Video Remote Control Profile）に対応している必要があります。お使いの機器やその状態によっては、操作できない場合があります。
- 動画コンテンツを再生する場合、画像と音声が同期しない場合があります。

入力レベルの変更

本機の音量を大きくしても出力に不足を感じる場合、入力レベルを変更してください。

① 本機と Bluetooth® 機器を接続したあとに［再生メニュー］を数回押して「Input Level」を選ぶ

② [◀][▶] を押してレベルを選び、[決定] を押す
- 「Level 0」から「Level + 2」まで調整できます。

お知らせ

- 音が歪んで聞こえる場合、「Level 0」を選択してください。
- お買い上げ時の設定は「Level 0」です。

通信モードを切り換える

音質、通信のどちらを重視するかを設定します。

① 本機とBluetooth®機器を接続する前に[Ⓑ]を押して「BLUETOOTH」を選ぶ
- 本機と他の Bluetooth® 機器がすでに接続されている場合、その機器の接続を解除してください。

② ［再生メニュー］を数回押して「Link Mode」を選ぶ

③ [◀][▶] を押してモードを選び、[決定] を押す

Mode 1： 通信の安定性重視
Mode 2： 音質重視（お買い上げ時の設定）

お知らせ

- Bluetooth® 接続が安定しない場合は、「Mode 1」をお選びください。

Bluetooth® スタンバイを設定する

ペアリング済みの Bluetooth® 機器で、Bluetooth® メニューから本機を選択すると、本機はスタンバイ状態から自動的に起動し、Bluetooth® 接続が確立します。

① [設定] を数回押して「BLUETOOTH Standby」を選ぶ

② [◀][▶] を押して「On」を選び、[決定] を押す

お知らせ

- Bluetooth® スタンバイを解除するには、手順 2 で「Off」を選択します。
- Bluetooth® スタンバイを「On」に設定すると待機時消費電力が増えます。

接続を解除する

① [再生メニュー] を数回押して「Disconnect?」を選ぶ

② [◀][▶] を押して「OK? Yes」を選び、[決定] を押す

お知らせ

- 本機の [Ⓑ- ペアリング] ボタンを押したままにすることで、接続を解除することもできます。
- 「BLUETOOTH」以外のセレクターが選ばれると、Bluetooth® 機器の接続が解除されます。

CD や USB の音声を聴く

本機で再生できるメディアについては 35 ページをご覧ください。
- 本機では USB デバイスへの録音はできません。

音源の準備をする

CD

1 **[電源] を押して電源を入れる**

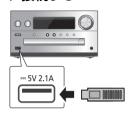
2 **本体の [▲ 開 / 閉] を押して CD トレイを開き、CD を入れる**
ラベル面を上に、CD トレイの中央に正しく置きます。

12 cm CD
8 cm CD
3 **本体の [▲ 開 / 閉] を押して CD トレイを閉める**

USB

1 **パソコンなどから USB デバイスに音楽ファイルを入れる**

2 **[電源] を押して電源を入れる**

3 **USB デバイスを本機の USB 端子に接続する**

お知らせ

- 接続する機器によっては正しく動作しない場合があります。
- USB 延長ケーブルは使用しないでください。本機では正しく動作しません。
- USB デバイスの使用後は、本機から取り外してください。
- USB デバイスを取り外す時は、セレクターを「USB」以外に切り換えてください。

音源を再生する

準備する
本機の音量を下げておく

1 **[CD/USB] を押してセレクターを「CD」または「USB」に切り換える**
押すたびに表示が切り換わります。

2 **[▶/❚❚] を押す**
再生が始まります。

停止する	[■] を押す ● USB デバイスの音源の場合「Resume」が表示され、停止した位置を記憶します。 ● 最初から再生するにはもう一度 [■] を押してから [▶/❚❚] を押す
一時停止	[▶/❚❚] を押す ● 再開するには [▶/❚❚] を押す
曲を飛ばす（スキップ）	[I◀◀][▶▶I] を押す （本体では [I◀◀/◀◀][▶▶/▶▶I] を押す）
アルバムを選ぶ（アルバムスキップ）※	[▲][▼] を押す ● 停止中は、[▲][▼] を押してから、数字ボタンを押すことでも選べます。
早送り / 早戻しする（サーチ）	再生中 / 一時停止中に、[◀◀][▶▶]（本体では [I◀◀/◀◀][▶▶/▶▶I]）を押したままにする
好きな曲から聴く（ダイレクトプレイ）	数字ボタンを押す (⇨ 10) ● ランダムプレイ (⇨ 22)、プログラムプレイ (⇨ 23) の設定中は操作できません。

※ MP3/AIFF/FLAC/WAV/AAC 形式ファイルで選択可能

CD や USB の音声を聴く（続き）

表示を切り換える

再生中／一時停止中に [表示切換] を押す

例：MP3 形式のファイルの表示
「A□□□ 」: アルバム番号
「T□□□ 」: トラック番号
(「□」は数字を表しています。)
“ ” : アルバム名に切り換え時に表示
“♪” : トラック名に切り換え時に表示

■ CD（CD-DA）

「CD」＋再生経過時間 → トラック番号＋再生経過時間 → トラック番号＋再生残り時間 → 「CD」＋再生経過時間

■ CD（MP3）や USB デバイス

お知らせ

- 曲名などは、英数字（最大 32 文字）のみ正しく表示されます。本機で対応していない文字は、異なる表示になる場合があります。
- 本機で対応している ID3 タグのバージョンは、1、2 です。

再生範囲を変える / 順不同で聴く (再生モード)

1 [再生メニュー] を数回押して「Playmode」を選ぶ

押すたびに表示が切り換わります。

2 [◀] [▶] を押して再生モードを選び、[決定] を押す

Off Playmode	通常再生
1-Track	1 曲を再生 (“1TR”が点灯します。)
1-Album※	アルバムを再生 (“1ALBUM”が点灯します。)
Random	曲をランダムに再生 (“RND”が点灯します。)
1-Album Random※	アルバム内の曲をランダムに再生 (“1ALBUM”、“RND”が点灯します。)

※ MP3/AIFF/FLAC/WAV/AAC 形式ファイルで選択可能

- 「1-Album」または「1-Album Random」の場合は、[決定] を押してから、[▲][▼] で再生するアルバムを選択してください。

3 [▶/❚❚] を押す

お知らせ

- ランダム再生中は一度再生した曲へスキップできません。
- CD トレイを開けたり USB デバイスを取り外すと、設定は解除されます。

繰り返し聴く（リピート再生）

再生モードと組み合わせて設定できます。

1 **[再生メニュー] を数回押して「Repeat」を選ぶ**
押すたびに表示が切り換わります。

2 **[◀][▶] を押して「On Repeat」を選び、[決定] を押す**
“ ” が点灯します。

3 **[▶/❚❚] を押す**

■ **解除するには**
上記の手順2で「Off Repeat」を選ぶ

お知らせ

- CD トレイを開けたり USB デバイスを取り外すと、設定は解除されます。

曲を選んで聴く（プログラムプレイ）

好みの曲を好きな順に、最大 24 曲までプログラムできます。

■ CD（CD-DA）

1 **停止中に、[プログラム] を押す**
表示部に“PGM”と表示されます。

2 **数字ボタンを押して曲を選ぶ**
続けて選ぶときはこの操作を繰り返します。

3 **[▶/❚❚] を押す**
再生が始まります。

■ CD（MP3）や USB デバイス

1 **停止中に、[プログラム] を押す**
表示部に“PGM”と表示されます。

2 **[▲][▼] を押してアルバムを選ぶ**

3 **[▶▶I] を押してから数字ボタンを押して曲を選び、[決定] を押す（続けて選ぶときは手順 2 と手順 3 の操作を繰り返します。）**

4 **[▶/❚❚] を押す**
再生が始まります。

停止する	再生中に [■] を押す ● USB デバイスの音源の場合は [■] を2回押す （プログラム内容は保持）
内容を確認する	プログラムプレイの停止中に、[I◀◀][▶▶I]（本体では [I◀◀/◀◀][▶▶/▶▶I]）を押す
曲を追加する	プログラムプレイの停止中に、CD（CD-DA）の手順 2（左記）を行う ● CD（MP3）や USB デバイスが音源の場合は手順 2 と手順 3 を行う
通常の再生に戻す	プログラムプレイの停止中に、[プログラム] を押す ●“PGM”の表示が消えます。 （プログラム内容は保持） ● プログラムプレイに戻るには停止中に、[プログラム] → [▶/❚❚] を押す
最後の 1 曲を取り消す	プログラムプレイの停止中に、[消去] を押す ● プログラム曲を選んで取り消すことはできません。
プログラムをすべて取り消す	① プログラムプレイの停止中に、[■] を押す ②「Clear All」が表示されている間に、[■] をもう一度押す

お知らせ

- 電源を切ったり、セレクターを切り換えてもプログラム内容は保持されます。
- CD トレイを開けたり USB デバイスを取り外すと、プログラム内容は取り消されます。
- プログラムの合計再生時間は表示されません。

CD/USB

iPhone/iPad/iPod の音楽を聴く

対応している iPhone/iPad/iPod を接続すると、iPhone/iPad/iPod の音楽を再生したり、充電したりできます。
- iPhone/iPad/iPod に付属の説明書もお読みください。

準備する
- 対応機器に付属されている USB ケーブル※を準備する

1 **[電源] を押して電源を入れる**

2 **iPhone/iPad/iPod を接続する**

※ USB ケーブルの詳細については、対応機器の説明書などもお読みください。

お知らせ
- iPhone/iPad/iPod は本機に対応した機種のみ接続してください。(⇨ 35)

音楽を本機で聴く

1 **iPhone/iPad/iPod を本機に接続する**

2 **[CD/USB] を押して、セレクターを「USB」に切り換える**

USB 端子に iPhone/iPad/iPod が接続されている場合、セレクターの表示が「iPod」に切り換わります。

3 **[▶/❚❚] を押す**

[▶/❚❚] は短く押してください。

■ リモコンでの操作※

一時停止	[▶/❚❚] または [■] を押す ● 再開するには [▶/❚❚] を押す
曲を飛ばす（スキップ）	[⏮][⏭] を押す
早送り / 早戻し（サーチ）	再生中 / 一時停止中に、[◀◀][▶▶] を聴きたい位置まで押したままにする
音量調整	[+ 音量 −] を押す

※ iPhone/iPad/iPod の機種によっては、操作できない場合があります。

お知らせ
- 動作の表示は、iPhone/iPad/iPod の画面で確認できます。
- ご使用の iPhone/iPad/iPod またはそのバージョンにより、通常と異なる動作や表示などを行う場合がありますが、基本的な音楽再生の使用には支障ありません。できるだけ最新のバージョンをご使用ください。
- 詳しくは、下記のサイトをご確認ください。
http://panasonic.jp/support/audio/connect/

充電する

iPhone/iPad/iPod を本機に接続すると、自動的に充電が始まります。

iPhone/iPad/iPod を本機に接続する (⇨ 左記)

- iPhone/iPad/iPod を本機に接続時、本機の電源が「切」の状態では充電は始まりません。
充電を行うときは、本機の電源を「入」にして、充電が始まったことを確認してから本機の電源を「切」にしてください。
- 充電が完了したかどうかは、iPhone/iPad/iPod の画面でご確認ください。
- iPhone/iPad/iPod の充電が完了したら、本機から取り外してください。

お知らせ
- iPhone/iPad/iPod の充電が一度完了すると、自然放電により電池が消耗しても追加充電されません。

AirPlay を楽しむ

AirPlay は、iOS 4.3.3 以降を搭載した iPhone、iPad、iPod touch、OS X Mountain Lion 以降を搭載した Mac、iTunes 10.2.2 以降を搭載した PC で動作します。

準備する
- 本機をネットワークに接続する (⇨ 11)
- iOS 機器やパソコンを、ご家庭でお使いの無線ネットワークに接続する

1 [電源] を押して電源を入れる
- 表示部に "W" が表示されていることを確認してください。
- "W" が表示されていない場合はネットワーク設定を確認してください。(⇨ 11)

2 iOS 機器（iPhone、iPod touch、iPad など）のとき
「iPod」または「ミュージック」アプリを開く

パソコンのとき

「iTunes」を開く

3 AirPlay アイコン を選び、スピーカーを選ぶ
- 初期設定のスピーカー名は「Panasonic PMX100 □□□□□□ ※1、2」と表示されます。

4 音楽を再生する
- 音を出す前に iOS 機器や iTunes の音量が適切か確かめてください。
- はじめてご使用になるときは iOS 機器や iTunes の音量を絞ってください。
- 再生開始後、実際に音声が出るまで少し時間がかかります。

※ 1 機器によって固有の番号が表示されます。
※ 2「詳細な接続設定を行う」(⇨ 15) から、本機の名前を変更できます。

■ リモコンでの操作

停止	[■] を押す
一時停止	[▶/❚❚] を押す ● 再開するには [▶/❚❚] を押す
曲を飛ばす（スキップ）	[⏮][⏭] を押す
音量調整	[+ 音量 –] を押す

- iOS 機器や iTunes でも操作することができます。

お知らせ
- 「表示切換」を押すと、再生している音楽の曲名、アルバム名、アーティスト名を見ることができます。
- 本機が電源切状態でも AirPlay 用スピーカーとして待機し、AirPlay をご使用のときに自動的に電源が入るように設定することができます。(⇨ 32,「ネットワークスタンバイを設定する」)
- iOS 機器や iTunes の音量を変えると、本機の音量も変わります。（iTunes をお使いのときは設定が必要です。）
- iOS や iTunes のバージョンによっては、AirPlay 再生中にセレクターを切り換えたり、本機の電源を切 / 入したりすると、次回に AirPlay の再生ができないことがあります。そのときは左記手順 3 でいったん別のスピーカーを選んでから、本機を選び直してください。
- iTunes で動画を再生しているときは、本機から AirPlay の再生ができないことがあります。

順不同で聴く（シャッフル）

1 [再生メニュー] を数回押して「Shuffle」を選び、[決定] を押す

2 [◀][▶] を押して入 / 切する
iOS 機器や iTunes の画面で確認してください。

繰り返し聴く（リピート）

1 [再生メニュー] を数回押して「Repeat」を選び、[決定] を押す

2 [◀][▶] を押して設定する
iOS 機器や iTunes の画面で確認してください。

お知らせ
- AirPlay 再生中に操作してください。
- シャッフル再生とリピート再生の設定は、AirPlay を解除しても引き継がれます。

iPhone/iPad/iPod

ラジオを聴く

ラジオをご利用になるためには、付属の FM 簡易型アンテナと AM ループアンテナの両方を接続してください。(⇒ 9)

放送局を記憶させて聴く

放送局をチャンネルに記憶させておくと、簡単な操作で聴くことができます。FM/AM 各 15 局まで記憶することができます。

自動でチャンネルを記憶させる（オートプリセットメモリー）

自動で各チャンネルに受信できる放送局を割り当てます。

1 **[ラジオ、EXT-IN] を数回押してセレクターを [FM] または [AM] に切り換える**

2 **[ラジオメニュー] を押して「Auto Preset」を選ぶ**

3 **[◀][▶] を押して周波数の割り当て順を選ぶ**

Lowest:
　1 番低い周波数から割り当てます。

Current:
　現在受信中の周波数から割り当てます。

4 **[決定] を押す**

周波数が動いて、現在受信できる放送局がチャンネルに記憶されます。

- 途中で止めるときは、[■]（停止）を押してください。

記憶させた放送局を聴く（プリセットチューニング）

1 **[ラジオ、EXT-IN] を数回押してセレクターを [FM] または [AM] に切り換える**

2 **[⏮][⏭] を押してチャンネルを選ぶ**

- 数字ボタン (⇒ 10) でもチャンネルを選べます。
- 選局モード (⇒ 27) が「Preset」の時は、本体の [⏮/◀◀][▶▶/⏭] を押してチャンネルを選べます。

周波数を手動で合わせて聴く

放送局の周波数に手動で合わせて、放送を聴くことができます。（マニュアルチューニング）

1 **[ラジオ、EXT-IN] を数回押してセレクターを [FM] または [AM] に切り換える**

2 **[◀◀][▶▶] を押して周波数を合わせる**

- 選局モード (⇒ 27) が「Manual」の時は、本体の [⏮/◀◀][▶▶/⏭] を押してチャンネルを選べます。

■ 自動選局するには（オートチューニング）

周波数が動き始めるまで [◀◀][▶▶] を押したままにする

（放送を受信すると止まります。）

- 好みの放送局を受信するまで、同じ操作を繰り返します。
- 周囲に妨害電波があると、放送を受信しなくても周波数が止まることがあります。

■ 選局モードを設定するには

選局モードを選ぶことでマニュアルチューニング（「Manual」）か、プリセットチューニング（「Preset」）を選ぶことができます。

① [ラジオメニュー] を数回押して「Tune Mode」を選ぶ

② [◀][▶] を押して「Manual」または「Preset」を選び、[決定] を押す

■ チャンネルを記憶させるには（マニュアルメモリー）

「自動でチャンネルを記憶させる（オートプリセットメモリー)」(⇨ 26) で記憶させたチャンネルに上書きしたり、FM モノラル受信 (⇨ 右記) で記憶させたりできます。

① 「周波数を手動で合わせて聴く」(⇨ 26) の手順2で周波数を合わせて、[プログラム] を押す

② 合わせた周波数が点滅中に、数字ボタン (⇨ 10) を押してチャンネルを選ぶ

- 「記憶させた放送局を聴く（プリセットチューニング)」(⇨ 26) で、放送局を選べます。

■ FM ステレオ放送で雑音が多いときは（FM モノラル受信）

① FM 受信中に、[ラジオメニュー] を数回押して「FM Mode」を選ぶ

② [◀][▶] を押して「Mono」を選び、[決定] を押す

- ステレオ受信に戻すには、上記手順 ② で「Stereo」を選ぶか、周波数を切り換えます。

■ FM がうまく受信できないときは

山間部や鉄筋ビルの中など、電波が弱いところやノイズが入るときには、屋外アンテナなどの設置をお勧めします。FM 専用アンテナ（市販品）やブースター（増幅器・市販品）の使用が必要になることがあります。

- 詳しくは、販売店にご相談ください。

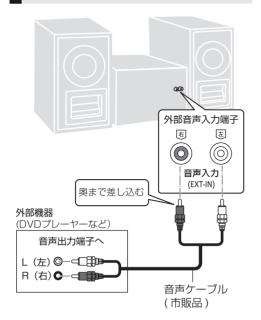
お知らせ

- FM ステレオ放送で雑音が多いときは、音質・音場効果 (⇨ 29) を切ることで改善することもあります。

ラジオ

外部機器の音声を聴く

DVD プレーヤーやパソコンなどの外部機器の音楽を本機から再生できます。
デジタル音声入力 （PC 入力） 端子に接続することで、 ハイレゾリューションオーディオを楽しむこともできます。

音声入力

1　[ラジオ、EXT-IN] を数回押して「AUX」を選ぶ

2　外部機器を再生する

デジタル音声入力

パソコンを接続する場合

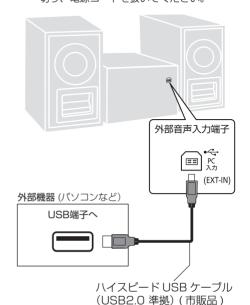
接続前に下記の操作を行ってください。

- パソコンの推奨OSについては下記をご確認ください。
  - Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1
  - OS X 10.7、10.8、10.9、10.10

① ご使用のパソコンに専用ドライバーソフトをダウンロードする（Windows OS のみ）
下記 URL からダウンロード・インストールしてください。
http://panasonic.jp/support/audio/

② ご使用のパソコンに専用アプリケーション「Panasonic Audio Player」（無料）をダウンロード・インストールする（Windows OS/OS X 共通）
下記 URL からダウンロード・インストールしてください。
http://panasonic.jp/support/audio/

1　本機とパソコンなどを接続する

- 本機と電源コードを接続している場合は、USB ケーブルを接続する前に本機の電源を切り、電源コードを抜いてください。

2　本機と電源コードを接続して、本機の電源を入れる

3　[ラジオ、EXT-IN] を数回押して「PC」を選ぶ

4　パソコンなどを操作して音楽を再生する

お知らせ

- 再生可能なファイルについては「仕様」(⇒ 42) を参照してください。
- ハイレゾリューションオーディオを再生する場合は、ハイスピード USB ケーブル（USB2.0 準拠）をお使いください。

音質・音場効果を楽しむ

お好みの音質や音場を設定してお楽しみください。

低音 / 高音を調整する

1 ［サウンド］を数回押して「Bass」（低音）または「Treble」（高音）を選ぶ

2 音質・音場メニュー画面の表示中に、[◀][▶] を押してレベルを調整する

- 各レベルはそれぞれ「－４」から「＋４」まで調整できます。

■ 本体で調整するには

BASS つまみ・TREBLE つまみを回して調整する

サラウンド効果を楽しむ

1 ［サウンド］を数回押して「Surround」を選ぶ

2 音質・音場メニュー画面の表示中に、[◀][▶] を押して「On Surround」を選ぶ

■ 解除するには

手順２で「Off Surround」を選ぶ

好みの音質を楽しむ（EQ：イコライザー）

［プリセット EQ］を数回押して好みの音質を選ぶ

Heavy:	ロックなどパンチを効かせるとき
Soft:	BGM として聴くとき
Clear:	ジャズなど高音部を鮮明にするとき
Vocal:	ボーカルにつやを出したいとき
Flat:	効果を使わないとき（お買い上げ時の設定）

豊かな低音で聴く

重低音を大きくします。

[D.BASS] を数回押して「On D.Bass」を選ぶ

■ 解除するには

[D.BASS] を数回押して「Off D.Bass」を選ぶ

お知らせ

- 再生する音源によっては効果が少ないものもあります。
- 再生する音源によっては、意図したとおりの音質・音場効果が得られないことがあります。このようなときは機能を切ってください。

タイマーを使う

時計を合わせる

1 [時計 / タイマー] を数回押して「Clock」を選ぶ

2 時計画面の表示中に
[▲][▼] を押して時計を合わせる

- 時刻を数字ボタンで入力する場合
  例：16 時 5 分
  [1] → [6] → [0] → [5] を押す
  （間違えた場合は、[消去] を押す）

3 [決定] を押して時刻を決定する

■ **時計を確認するには**
[時計 / タイマー] を押す
- 電源切時も[時計/タイマー]を押すことで表示できます。

お知らせ

- 電源プラグを抜いたり停電したときは、時計を合わせ直してください。
- 本機の時計は 24 時間表示です。
- 時計の精度には若干の誤差がありますので、定期的な時刻補正をお勧めします。

おやすみタイマー

指定した時間が経過すると、自動的に再生を停止し、電源が切れます。

[スリープ] を数回押してタイマーの時間を選ぶ

押すたびに：
「 30min 」→「 60min 」→「 90min 」→「 120min 」→「 Off 」（タイマー解除）→「 30min 」

- ボタン操作しないと残り時間が表示されます。

お知らせ

- おめざめタイマー (⇨ 右記) と組み合わせて使う場合、おやすみタイマーが優先されます。

おめざめタイマー

設定した時刻になると、毎日、電源が入って指定した音源を再生し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

準備する
- 時計を合わせる (⇨ 左記)
- 再生する音源（CD、USB デバイス、ラジオ、iPhone/iPad/iPod）を準備する
- （ラジオの場合）FM/AM の放送局をチャンネルに記憶させる (⇨ 26)

タイマーの時刻と音源を設定する

1 [時計 / タイマー] を数回押して「Timer Adjust」を選ぶ

2 [▲][▼] を押して開始時刻（「On Time」）を設定し、[決定] を押す

- 時刻は数字ボタンでも入力できます。
  (⇨「時計を合わせる」手順２)

3 [▲][▼] を押して終了時刻（「Off Time」）を設定し、[決定] を押す

- 時刻は数字ボタンでも入力できます。
  (⇨「時計を合わせる」手順２)

4 [▲][▼] を押して再生したい音源※を設定し、[決定] を押す

- 「CD」、「USB」、「FM」、「AM」でおめざめタイマーを設定することができます。

※ iPhone/iPad/iPod を音源に選ぶ時は「USB」に設定してください。

タイマーを動作させる

1 [音量 −][+ 音量] を押して再生したい音量に合わせる

2 [◴、再生] を押す
- 表示部に“◴”が表示されます。
  タイマーを解除するには、もう一度[◴、再生] を押して“◴”を消してください。

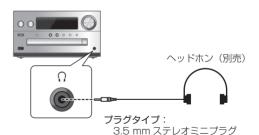
3 [電源] を押して電源を切る
- 電源を切らないとタイマーは動作しません。

■ 設定したタイマーを確認するには

[時計 / タイマー] を数回押して「Timer Adjust」を選ぶ（電源切時は [時計 / タイマー] を 2 回押す）
- 設定時刻、音源、音量の確認ができます。

お知らせ

- 設定した時刻になると、設定した音量までフェードイン（徐々に大きく）して再生します。
- おめざめタイマーを有効にしている限り、毎日同じ時間にタイマーが動作します。
- おめざめタイマー動作中に本機の電源を切 / 入した場合、タイマーは設定した時刻に終了しません。
- おめざめタイマー設定後に、設定時と異なる音源、音量のままで電源を切っても、おめざめタイマーは設定時の音源、音量で動作します。

ヘッドホンで聴く

■ お願い

- ヘッドホンを接続するときは、音量を下げてください。また、耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くことは避けてください。

電源の切り忘れを防ぐ（オートオフ）

無音の状態が 20 分以上続き、その間ボタン操作などがなかったときに、自動的に電源が切れます。
- お買い上げ時の設定は「On」です。
- この機能はラジオを選択している場合には働きません。

■ 解除するには

1 [設定] を数回押して「Auto Off」を選ぶ

2 [◀][▶] を押して「Off」を選び、[決定] を押す
- 再度、有効にするときは「On」を選択します。

お知らせ

- オートオフ機能は無効にしない限り、電源を切／入しても働きます。
- Bluetooth® 機器を本機と接続している場合、オートオフ機能は働きません。
- ネットワーク・スタンバイ機能 (⇨ 32) を「On」に設定すると、オートオフ機能は「On」に固定されます。
  設定を変更する場合はネットワーク・スタンバイ機能を「Off」に設定してください。(⇨ 32)

ソフトウェアを更新する

動作の改善や、新機能の追加のため、当社は本機のソフトウェアを必要に応じて更新しています。

「Panasonic Music Streaming」アプリ（バージョン 2.0.8 以降）の画面に表示されるアップデートを促すポップアップからアップデートすることもできます。アプリについて詳しくは下記をご覧ください。
http://panasonic.jp/support/audio/app

- **故障の原因になりますのでソフトウェアの更新中は絶対に電源コードを抜かないでください。更新中は「Linking」、「Updating」や「□□□%」などの進捗状況が表示されます。（「□」は数字を表しています）**
- **ソフトウェアの更新中は他の操作はできません。**

準備する
- 本機をネットワークに接続する (⇒ 11)（インターネットに繋がったネットワークに接続してください。）

1 [ラジオ、EXT-IN] を数回押して「Network」を選ぶ

2 [設定] を数回押して「SW Update」を選び、[決定] を押す

3 [◀][▶] を押して「OK? Yes」を選び、[決定] を押す

- 更新を中止する場合は「OK? No」を選んでください。

更新が完了すると「Success」と表示されます。

4 電源プラグを抜く

5 3分以上たってから、電源プラグを差し込む

お知らせ

- 最新のソフトウェアのときは、「No Need」と表示されます。
- 更新には数分かかります。お使いの環境により、さらに時間がかかったり、インターネット接続ができなくなる場合があります。

■ ソフトウェアのバージョンを確認する

① [設定] を数回押して「SW Version」を選び、[決定] を押す
バージョン情報が表示されます。
② [決定] を押し、終了する

ネットワークスタンバイを設定する

本機が電源切状態でもネットワーク接続機器用のスピーカーとして待機し、ネットワーク接続機器をご使用のときに自動的に電源が入ります。

以下の操作でこの機能を有効にすることができます：

1 [設定] を数回押して「Net Standby」を選び、[決定] を押す

2 [◀][▶] を押して「On」を選び、[決定] を押す

- 「Net Standby」が「On」のとき
  – 本機の電源が切のときでもネットワーク（有線LAN/Wi-Fi）に接続されています。
  – ネットワークスタンバイ設定が「On」のときは待機時消費電力が増えます。

■ ネットワークスタンバイを解除するには

上記の手順 2 で「Off」を選ぶ

- ネットワークスタンバイ機能により自動的に本機の電源が入ったとき、曲の最初の部分が再生されない場合があります。
- アプリによってネットワークスタンバイ機能の動作が異なります。
- 本機を接続機器のスピーカーに選んでも電源が入らない場合は、接続機器で再生を始めてください。

無線 LAN 機能の有効・無効を切り換える

- お買い上げ時の設定は「On」（有効）です。
- 設定を変更しても無線接続設定は保持されます。

1 [ラジオ、EXT-IN] を数回押して「Network」を選ぶ

2 [設定] を数回押して「Wireless LAN」を選び、[決定] を押す

3 [◀][▶] を押して項目を選び、[決定] を押す

ネットワーク接続の信号レベルを確認する

本機をネットワークに接続したあと、接続状態の安定度を確認することができます。

1 [ラジオ、EXT-IN] を数回押して「Network」を選ぶ

2 [設定] を数回押して「Signal Level」を選び、[決定] を押す
- 「3」が安定した信号状態です。「2」または「1」のとき、または通信の途切れが発生するときは、本機や無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるか、お確かめください。
- 「0」のときは接続されていません。(⇨ 36)

3 [決定] を押して終了する

ネットワーク名（SSID）を確認する

1 [ラジオ、EXT-IN] を数回押して「Network」を選ぶ

2 [設定] を数回押して「Net Info」を選び、[決定] を押す

3 [▲][▼] を押して「SSID」を選び、[決定] を押す
- 「No Connect」が表示される場合は、お使いの機器がネットワーク接続されているか確認してください。
- 機器が表示できない文字は“＊”で表示されます。

4 [決定] を押して終了する

割り当てられた IP アドレスを確認する

ルーターに接続後、本機に割り当てられた IP アドレスを確かめることができます。

1 [ラジオ、EXT-IN] を数回押して「Network」を選ぶ

2 [設定] を数回押して「Net Info」を選び、[決定] を押す

3 [▲][▼] を押して「IP Addr.」を選び、[決定] を押す

4 [◀][▶] を押して下部を表示する

5 [決定] を押して終了する

本機の Wi-Fi MAC アドレスを調べる

1 [ラジオ、EXT-IN] を数回押して「Network」を選ぶ

2 [設定] を数回押して「Net Info」を選び、[決定] を押す

3 [▲][▼] を押して「MAC Addr.」を選び、[決定] を押す

4 [◀][▶] を押して下部を表示する

5 [決定] を押して終了する

ネットワークリセットを行う

ネットワークの設定をお買い上げ時の設定に戻します。

1 [ラジオ、EXT-IN] を数回押して「Network」を選ぶ

2 [設定] を数回押して「Net Reset」を選び、[決定] を押す

3 [◀][▶] を押して「OK? Yes」を選び、[決定] を押す
- 表示部に「Network Initializing」が表示された後、「WAC Mode」と表示されます。
  – 無線 LAN 接続の「接続方法 1」でネットワーク接続が可能な状態です。(⇒ 12)
  –「WAC Mode」を解除するには [■] を押してください。

- ネットワークリセットを行っても「無線 LAN 機能の有効・無効を 切り換える」の設定は変わりません。

リモコンモードを変更する

他の機器のリモコンを操作すると、本機にも影響してしまうことがあります。
このときは、リモコンモードを変えてください。
- お買い上げ時の設定は「Remote 1」です。

本体側を「Remote 2」に切り換えるには :

1 [CD/USB] を押して、セレクターを「CD」に切り換える

2 本体の [セレクター] を押したまま、リモコンの「2」を２秒以上押したままにする

「Remote 2」と表示されます。

リモコン側を「Remote 2」に切り換えるには :

3 リモコンの [決定] と「2」を４秒以上押したままにする

動作を確認してください
リモコンの操作ができれば、正しく設定されています。リモコンが働かないときは、表示部に表示されている数字にリモコン側を切り換えてください。

例 :「U30 REM2」と表示された場合
手順 3 を行ってください。

■ リモコンモードを「Remote 1」に戻すには

① [CD/USB] を押して、セレクターを「CD」に切り換える
② 本体の [セレクター] を押したまま、リモコンの「1」を２秒以上押したままにする
- 「Remote 1」と表示されます。

③ リモコンの [決定] と「1」を４秒以上押したままにする

対応メディアについて

CD

本機は以下のディスクを再生することができます。

市販の音楽 CD（CD-DA）	○
CD-R/CD-RW（CD-DA）	○
CD-R/CD-RW（MP3）	○

■ 使用できる CD

-

 マークの付いた CD
- CD-DA フォーマットで記録された音楽用の CD-R/CD-RW（ファイナライズ※されたもの）
–記録状態によっては再生できない場合があります。

※ 音楽用 CD-R/CD-RW 再生対応機器で再生できるように処理すること。

- 本機は最大 99 トラックまで読み取ることができます。

■ 使用できない CD

- ハート型など、特殊形状の CD（故障の原因になります。）

■ 使用を保証していない CD

- 違法にコピーしたディスクや規格外ディスク
- DualDisc（デュアルディスク：両面に音楽や映像などの情報が書き込まれたディスク）

■ CD-R/CD-RWに記録されたMP3ファイル

- 使用できるフォーマット：ISO9660 level1 および level2（拡張フォーマットを除く）
- 同一ディスクで MP3 と通常の音楽 CD（CD-DA) の両方の形式が記録されている場合、本機はディスクの最も深い階層に記録されている形式を再生します。
- パケットライト方式で記録されたファイルは再生できません。
- ファイルをトラック、フォルダーをアルバムと表現しています。
- 最大アルバム数 255、トラック数 999 まで再生できます。（ルートフォルダを含む）
- ファイルの記録方法によっては、再生順が異なったり再生できない場合があります。

USB デバイス

- すべての USB デバイスとの接続を保証するわけではありません。
- 本機は FAT12、FAT16 および FAT32 形式でフォーマットされた USB デバイスに対応しています。
- 本機はハイスピード USB（USB2.0 準拠）に対応しています。
- 本機では 32 GB までの容量の USB デバイスに対応しています。
- 本機は以下の拡張子のファイル形式に対応しています：
MP3（“.mp3”）、AIFF（“.aiff”）、FLAC（“.flac”）、WAV（“.wav”）、AAC（“.m4a”）
- ファイルをトラック、フォルダーをアルバムと表現しています。
- 最大アルバム数 800、トラック数 8000（ルートフォルダを含む）、1 つのアルバムにつき 999 トラックまで再生できます。
- マルチポート USB のカードリーダを接続しているときは、1 枚のメモリーカードのみが選択されます。それは、おおむね最初に挿入されたカードとなります。

iPhone/iPad/iPod

iPhone/iPad/iPod のデータ管理について、当社では一切の保証をしておりません。

本機に対応している機種
（2015 年 3 月現在）

iPhone 6 Plus / iPhone 6 / iPhone 5s / iPhone 5c / iPhone 5 / iPhone 4s / iPhone 4 / iPhone 3GS / iPhone 3G / iPhone
iPad Air 2 /iPad Air / iPad（第 3 および第 4 世代）/ iPad 2 / iPad / iPad mini 3 / iPad mini 2 (iPad mini Retina ディスプレイモデル) / iPad mini
iPod touch （第 1 から 第5 世代）
iPod nano （第 2 から 第7 世代）

お知らせ

- ご使用の iPhone/iPad/iPod またはそのバージョンにより、通常と異なる動作や表示などを行う場合がありますが、基本的な音楽再生の使用には支障ありません。できるだけ最新のバージョンをご使用ください。
詳しくは、下記のサイトをご確認ください。
http://panasonic.jp/support/audio/connect/

こんな表示が出たら

表示文字	意味	調べるところ ・ 対策
Adjust Clock	タイマーを動作させるには時計設定が必要です。	時計を合わせてください。(⇒ 30)
Adjust Timer	タイマーの開始時刻と終了時刻を設定していません。	タイマーの開始時刻と終了時刻を設定してください。(⇒ 30)
Auto Off	本機の使用が 20 分間なかったため、オートオフ機能 (⇒ 31) が働き、電源が切れます。	取り消すときは、[決定] などを押してください。
Checking Connection	接続した iPhone/iPad/iPod または USB デバイスを確認中です。	表示が消えてから操作を行ってください。 継続して表示される場合、iPhone/iPad/iPod の電源を入れ直し、接続をやり直してください。(⇒ 24)
DL Error	ソフトウェアのダウンロードに失敗しました。	しばらく待ってから、やり直してください。
	ネットワークがインターネットに接続されていません。	お使いの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）がインターネットに接続されているか、確かめてください。
Error	誤った操作をしています。	操作をやり直してください。
Fail	ネットワークの設定に失敗しました。	手順を確認し、ネットワークの設定をやり直してください。(⇒ 11)
	ソフトウェアのアップデートに失敗しました。	電源を切ったあと、電源プラグを抜き差しして、アップデートをやり直してください。
F□□ / F□□□ （「□」は数字を表しています。）	異常が発生しました。（本システムは異常を検出すると、保護回路が働いて、電源を自動的に切ります。）	著しい大音量で聴いていませんか。また、異常に暑い場所で使用していませんか。 しばらく待ってから再び電源を入れてください。（保護回路の動作が解除されます。） それでも同じ現象が起こる場合は、電源プラグを抜いてお買い上げの販売店にご相談ください。
Level 0	ネットワークに接続されていません。	本機の電源を切 / 入したあと、ネットワークの接続をやり直してください。(⇒ 11) それでも表示される場合は、電源プラグを抜いてお買い上げの販売店へご相談ください。
Linking	セレクターが「BLUETOOTH」に切り換わると本機は自動で最後に接続していた Bluetooth® 機器と接続しようとします。	—
	ネットワーク設定を完了するために、本機が無線ブロードバンドルーターと通信しています。	お使いのルーターによっては設定完了までに数分かかることがありますが、本機をルーターの近くに置くと、短縮できる場合があります。
Network Initializing Setup in Progress, Try Again	本機が内部で動作処理をしています。	電源コードは抜かず、3 分以上待ってから操作を続けてください。
No Connect	ネットワークに接続されていません。	ネットワークの接続を確かめてください。(⇒ 11)
No Device	iPhone/iPad/iPod または USB デバイスが正しく接続されていません。	● iPhone/iPad/iPodまたはUSBデバイスが正しく接続されているか確認してください。 ● iPhone/iPad/iPod の電源を入れ直し、接続をやり直してください。(⇒ 24)

表示文字	意味	調べるところ・対策
No Disc	CD が入っていません。 または、曲の入っていない CD-R などが入っています。	再生できる CD を入れてください。(⇨ 35)
No Play	再生できない曲です。	(その曲をスキップして再生します。)
	再生できないディスクです。	再生できるディスクに取り換えてください。(⇨ 35)
	USB デバイス内のファイルが再生できないフォーマットです。	本機が対応している拡張子のファイル形式を確認してください。(⇨ 35)
	異常が発生しました。	電源を切ったあと、電源プラグを抜き差しして、再度電源を入れてください。
Device No Response Hub Not Supported Not Supported	対応していない iPhone/iPad/iPod です。	iPhone/iPad/iPod が対応している機種かどうか、確認してください。(⇨ 35) 対応している iPhone/iPad/iPod のときは、iPhone/iPad/iPod の電源を入れ直し、接続をやり直してください。
	対応していない USB デバイスです。	USB デバイス が対応している機器かどうか、確認してください。(⇨ 35)
PC Unlocked	「PC」セレクターが選ばれていますが、本機にパソコンが接続されていません。	本機にパソコンを接続してください。(⇨ 28)
PGM Full	プログラム曲数が 24 曲を超えようとしています。	(これ以上のプログラムはできません。)
Playerror	対応していない形式のファイルです。	その曲をスキップして再生します。
Reading	情報を読み込んでいます。	「Reading」が消えてから操作してください。
USB Over Current Error	iPhone/iPad/iPod または USB デバイスに過大な電流が流れるのを検出しました。	iPhone/iPad/iPod または USB デバイスを本機から取り外して電源を切 / 入したあと、接続をやり直してください。(⇨ 24)
U30 REM1 U30 REM2	リモコンモードの設定が本機と合っていません。	● “U30 REM1” が表示される場合、リモコンの [決定] と [1] を 4 秒以上押したままにしてください。 ● “U30 REM2” が表示される場合、リモコンの [決定] と [2] を 4 秒以上押したままにしてください。
VBR	「VBR」が表示された曲は、曲の残り時間が表示されません。	—
WAC Mode	無線 LAN 接続の「接続方法 1」でネットワーク接続が可能な状態です。(⇨ 12)	[■] を押すと「WAC Mode」が解除されます。
Wait	電源「切」時などに表示されます。(最大 1 分半)	表示が消えるまでお待ちください。
“W” が点滅	ネットワークの通信が途切れるなどした場合に点滅します。	● しばらく待っても点滅が止まらない場合は、接続先のルーターが正しく動作しているかを確認してください。 ● 電子レンジや 2.4 GHz 帯の電波を使用するコードレス電話などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。本機と機器を離してお使いください。 ● ネットワークの接続を確かめてください。(⇨ 11)

故障かな！？

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。それでも直らないときや、ここに記載のない症状のときはお買い上げの販売店にご相談ください。

本機の温度上昇について
長時間使用すると、本機が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

ソフトウェアを更新していますか？
本機の動作を改善するために、ソフトウェアは必要に応じて更新されています。(⇨ 32)

サポート情報の詳細については下記のサイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/audio/

本機の設定をお買い上げ時の状態（工場出荷設定）に戻すには

本機の動作がおかしいと思われる場合、一度お買い上げ時の状態に戻してみると、症状が改善されることがあります。

① 電源プラグを抜く
- ３分以上たってから手順②を行ってください。

② 本体の[電源⏻/I]を押しながら電源プラグを接続する

③ 表示部に「−−−−−−−−−−」が表示されるまで、本体の [電源 ⏻/I] を押したままにする
- リモコンモードなどすべての設定が、お買い上げ時の設定に戻ります。
- ネットワーク設定をお買い上げ時の設定に戻すには「ネットワークリセットを行う」(⇨ 34) をご参照ください。

共通

リモコン操作ができない

- 電池が消耗している場合は電池を交換してください。(⇨ 6)

本機のリモコン操作で他の機器が誤動作する
他の機器のリモコンで本機が誤動作する

- 他の機器が干渉しないように、本機とリモコンのリモコンモードを変更してください。(⇨ 34)

再生中に「ブーン」という音がする

- 接続コードの近くに他の電気機器の電源コードや蛍光灯がありませんか。他機器の電源を切るか、本機からできるだけ離してください。
- 電源プラグを逆に差しかえてみてください。

音が歪む / 音が出ない

- 本機の音量を調節してください。
- スピーカーコードを接続しているつまみが緩んでいませんか。スピーカーコードが正しく接続されているか確認してください。
- スピーカーの接続に問題がない場合は以下の内容をご確認いただき、販売店へご相談ください。
  – 片方のスピーカーのみ音が出ない場合、本体側で、接続しているスピーカーケーブルの左右を差し替えてみる。
  音が出なかったスピーカーから音が出るようになった場合、センターユニットの故障が考えられます。差し替えても音が出ない場合は、スピーカーの故障かスピーカーコードの断線が考えられます。
- 著しい大音量で聴いていませんか。または異常に暑い場所で使用していませんか。音量を下げるなどして原因を解消し、本機の電源を切ってください。しばらく待ってから再び電源を入れてください。

雑音が多い

- セレクターが「AUX」の時、１つの機器を外部音声入力端子と USB 端子の両方に接続していると、機器によっては雑音が発生することがあります。その場合、USB 端子側の接続を外してください。

操作を受け付けなくなったときは…

- 各種安全装置が働いていることがあります。

① [電源 ⏻/I] を押し、電源を切る
- 電源が切れない場合は、約 10 秒間押したままにすると強制的に切れます。
  (それでも切れない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、約３分後再びコンセントに差し込む)

② [電源 ⏻/I] を押し、電源を入れる

上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

CD

表示部が変わらない / 再生が始まらない

- ディスクが傷ついていたり、汚れていたりしませんか。(⇨ 7)
- 寒いところから急に暖かいところに持ってきたなど、急激な温度差で、レンズ部に「つゆつき」が生じることがあります。故障の原因になりますので、「つゆつき」が起こりそうなときは、部屋の温度になじむまで（約２～３時間）、電源を切ったまま放置してください。

ラジオ

雑音、ひずみが多く、うまく受信できない

- FM 簡易型アンテナと AM ループアンテナの両方が接続されていますか。(⇨ 9)
- マニュアルチューニング (⇨ 26) で放送局の周波数に合わせてから、アンテナの設置場所や向きを変えてみてください。
- アンテナ線を電源コードや他機器の接続ケーブルなどからできるだけ離してください。
- 送信所が遠かったり、近くに大きなビルや山がある場合は、屋外アンテナを利用してみてください。(⇨ 27)
- テレビ、ビデオデッキ、パソコン、BS チューナーなどの電源が入っていませんか。また、近くで携帯電話の充電をしていませんか。各機器の電源を切る、または本機と各機器との距離を離してください。

iPhone/iPad/iPod

接続しても認識されない / 操作できない

- iPhone/iPad/iPod の接続方法は正しいですか。
- iPhone/iPad/iPod の電池が切れていませんか。iPhone/iPad/iPod を充電してから (⇨ 24)、接続をやり直してください。
- iPhone/iPad/iPod の電源を切 / 入してから、接続をやり直してください。

充電が始まらない

- 本機の電源が「切」になっていませんか。本機の電源を「入」にして、充電が始まったことを確認してから「切」にしてください。
- 電池の切れた iPhone/iPad/iPod を充電する場合：
  – 本機の電源を「入」にして iPhone/iPad/iPod を接続してください。iPhone/iPad/iPod の操作ができるようになるまでは本機の電源を「切」にしないでください。

USB

USB デバイスを接続しても認識されない

- ご使用の USB デバイスが他の機器で認識できるかどうか、確認してください。

[▶/❚❚] を押しても再生が始まらない

- 本機で再生できるファイル形式を確認してください。(⇨ 35) また、容量が 32 GB を超える USB デバイスの動作は保証していません。

操作に時間がかかる

- 容量の大きい USB デバイスの場合、操作に時間がかかることがあります。

Bluetooth®

Bluetooth® 機器が登録できない

- Bluetooth® 機器の状態を確かめてください。

Bluetooth® 機器と無線接続されない

- Bluetooth® 機器が登録されていないか、Bluetooth® 機器から本機の登録情報が消去された可能性があります。登録をやり直してください。(⇨ 19)
- 本機が他の Bluetooth® 機器と接続されていませんか。他の Bluetooth® 機器の電源を切ってください。
- 本機の電源を切 / 入して接続をやり直してください。

Bluetooth® 機器と接続されているが、本機から音が出ない

- お使いの Bluetooth® 機器によっては音声出力を本機に設定しないと音が出ません。Bluetooth® 機器の説明書などをお読みください。
- ワンセグ対応の携帯電話等によっては、その機器の仕様や設定により、音声が再生されないことがあります。その場合、本機の通信モードを「Mode 1」に設定することで改善される場合があります。

音が途切れる

- Bluetooth® 通信使用可能距離（約 10 m）を超えていませんか。本機と Bluetooth® 機器を近づけてください。
- 本機と Bluetooth® 機器間に障害物がありませんか。障害物を避けてください。
- 電子レンジや 2.4 GHz 帯の電波を使用するコードレス電話などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。本機と Bluetooth® 機器を離してお使いください。
- 本機の通信モードを「Mode1」に設定してみてください。(⇨ 20)

ワンタッチ (NFC) 接続ができない

- 本機の電源を入れて、Bluetooth® 機器の NFC 機能を有効にしてください。(⇨ 19)
- Bluetooth® 機器のタッチ位置を変えて再度、NFC タッチエリアにタッチしてください。

PC

パソコンが本機を認識しない

- 動作環境を確認してください。(⇒ 28)
- パソコンを再起動して本機の電源を入れ直してから、USB ケーブルを再度接続してください。
- 本機と接続するパソコンの USB 端子を変更してください。
- ご使用のパソコンが Windows の場合は、専用ドライバーをインストールしてください。

パソコンに保存してある音楽ファイルが見つからない

- ネットワーク経由で音楽ファイルを再生する場合、ネットワークサーバーに登録されていない音楽ファイルは表示されません。ネットワークサーバーの説明書を確認してください。

ネットワーク

ネットワークに接続できない

- ネットワーク接続や設定は正しいですか。(⇒ 11)
- 無線 LAN 機能が無効になっている場合は、設定を有効にするか、有線 LAN 接続してください。(⇒ 33)
- 本機はWPA2™のWi-Fiセキュリティー方式に対応しています。
  本機をネットワーク接続する際は、WPA2™ に対応している無線ブロードバンドルーターをお使いください。ルーターが対応するセキュリティー方式や、設定の変更についてはルーターの説明書をご覧になるか、インターネットサービス業者にお問い合わせください。
- ルーターの設定でマルチキャストを有効にしてください。
- ルーターによってはWPS ボタンで接続できない場合があります。他の接続方法をお試しください。(⇒ 11)

本機を接続機器のスピーカーに設定できない

- 接続機器が本機と同じネットワークに接続されているか確認してください。
- 接続機器のネットワーク接続を切 / 入してから、本機と接続し直してください。
- 無線ブロードバンドルーターの電源を切 / 入してください。
- 本機の電源を切 / 入してから、再度本機を接続機器のスピーカに選択してください。

再生が始まらない
音が途切れる

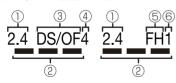
- 本体背面の無線 LAN アンテナの向きを変えてみてください。
- スピーカーと本体との距離を離してみてください。
- 電子レンジや 2.4 GHz 帯の電波を使用するコードレス電話などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。本機と機器を離してお使いください。
  – お使いの無線ブロードバンドルーターが
    5 GHz 帯の電波に対応している場合、5 GHz 帯の電波での接続をお試しください。
    5 GHz 帯に変更するにはインターネットブラウザを使う接続をやり直してください。(⇒ 12)
    手順 10 で 5 GHz 帯の電波のネットワーク名（SSID）を選んでください。
- 金属キャビネットの中など電波を遮るようなところに本機を置かないでください。
- 再生が中断された場合は接続機器の再生状態を確認してください。
- 本機とルーターを近づけてご使用ください。
- 複数の無線機器がルーターに接続されているときは、使用していない機器の電源を切るか、同時に複数の機器のご使用を控えてください。
- 接続機器のネットワーク接続を切 / 入してから、本機と接続し直してください。
- 無線ブロードバンドルーターの電源を切 / 入してください。
- iOS や iTunes のバージョンによっては、AirPlay 再生中にセレクターを切り換えたり、本機の電源を切 / 入したりすると、次回に AirPlay の再生ができないことがあります。そのときは iOS 機器や iTunes でいったん別のスピーカーを選んでから、本機を選び直してください。(⇒ 25)
- 有線 LAN 接続を行ってください。(⇒ 14)

無線機能使用上のお願い

■ 使用周波数帯

内蔵無線機器は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見方

周波数表示は、定格銘板に記載しています。

① 2.4 GHz 帯を使用
② 2.400 GHz~2.4835 GHzの全帯域を使用
③ 変調方式が DSSSとOFDM方式
④ 電波与干渉距離40 m 以下
⑤ 変調方式が FH-SS方式
⑥ 電波与干渉距離10 m 以下

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用周波数を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーテーションの設置など）についてご相談してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先： **パナソニック株式会社**
パナソニック お客様ご相談センター
(⇨ 裏表紙)

■ 機器認定

内蔵無線機器は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、内蔵無線機器に以下の行為を行うことは、電波法で禁止されています。

- 分解 / 改造する
- 定格銘板を消す / はがす
- 5 GHz 帯無線 LAN を使って屋外で通信を行う

■ 使用制限

内蔵無線機器の使用に当たり、以下の制限がありますのであらかじめご了承ください。
制限をお守りいただけなかった場合、および内蔵無線機器の使用または使用不能から生ずる付随的な損害などについては、当社は一切の責任を負いかねます。

- **日本国内でのみ使用できます。**
- **利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。**
  無線ネットワーク環境の自動検索時に利用する権限のない無線ネットワーク（SSID: ネットワークを識別するための名前）が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
- **磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。**
  次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。
  –電子レンジ
  –デジタルコードレス電話機
  –その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器の近く（ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など）
  –電波が反射しやすい金属物などの近く
- **電波によるデータの送受信は、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があり傍受される可能性があります。**
- すべてのBluetooth®機器との無線通信を保証するものではありません。
- 無線通信する Bluetooth® 機器は、The Bluetooth SIG, Inc. の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合している機器であれば、一部動作する場合がありますが、機器の仕様や設定により、接続できないことがあり、操作方法·表示·動作を保証するものではありません。
- Bluetooth® 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時はご注意ください。
- ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 使用可能距離

見通し距離約 10 m 以内で使用してください。
間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

- 放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。
- 無線LAN を使用中にBluetooth®機器の音が途切れたり雑音が入る場合は、無線 LAN のご使用をお控えください。

■ 用途制限

内蔵無線機器は一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途※での使用を想定して設計·製造されたものではありません。ハイセイフティ用途に使用しないでください。

※ ハイセイフティ用途 : きわめて高度な安全性が要求され、直接生命·身体に重大な危険性を伴う用途のこと。
例 : 原子力施設における核反応制御 / 航空機自動飛行制御 / 航空交通管制 / 大量輸送システムにおける運航制御 / 生命維持のための医療機器 / 兵器システムにおけるミサイル発射制御、など

仕様

■ 総合

電源 : AC100 V、 50/60 Hz
消費電力 : 51 W
電源切 （スタンバイ）時の消費電力
(「BLUETOOTH Standby」を「Off」に設定時) ※1、※2
約 0.35 W
(「BLUETOOTH Standby」を「On」に設定時) ※1、※2
約 0.4 W
（ネットワークスタンバイ有効時）※1
約 5 W
寸法（幅×高さ×奥行）(センターユニット）:
211 mm × 114 mm × 267 mm
質量 (センターユニット）: 約 3 kg
許容動作温度 : 0 ℃～ +40 ℃
許容相対湿度 : 35 % ～ 80 % RH（結露なきこと）

■ アンプ部

実用最大出力 : 60 W + 60 W（JEITA）
実用最大出力合計値 : 120 W（同時駆動、JEITA）

■ チューナー部

FM
プリセットメモリー登録数 : 15 局
受信周波数帯域 : 76.0 MHz ～ 108.0 MHz
（100 kHz ステップ）
アンテナ端子 : 75 Ω（不平衡型）

AM
プリセットメモリー登録数 : 15 局
受信周波数帯域 : 522 kHz ～ 1629 kHz
（9 kHz ステップ）

■ CD 部

再生可能ディスク : 8 cm/12 cm
CD、CD-R、CD-RW
再生可能フォーマット : CD-DA、MP3 ※3
ピックアップ
波長 : 790 nm（CD）

■ スピーカー部

スピーカーユニット
ウーハー : 14 cm コーン型 × 1
ツイーター : 1.9 cm ドーム型 × 1
スーパーツイーター : 1.2 cm ピエゾ型 × 1
インピーダンス : 3 Ω
寸法（幅×高さ×奥行）: 161 mm × 238 mm × 264 mm
質量 : 約 3 kg

■ Bluetooth® 部

バージョン : Bluetooth® Ver. 2.1+EDR
送信出力 : Class 2
通信プロファイル : A2DP、AVRCP
接続周波数 : 2.4 GHz band FH-SS
見通し通信距離 : 約 10 m
対応コーデック ; AAC、SBC

■ 端子部

USB 接続端子 : 端子タイプ USB-A
供給電力 DC OUT 5 V、2.1 A
USB インターフェース : USB 2.0 High-speed
再生フォーマット :
MP3（*.mp3）、AIFF（*.aiff）、FLAC（*.flac）
WAV（*.wav）、AAC（*.m4a）
対応フォーマット
MP3/AAC ※4
サンプリング周波数 : 32/44.1/48 kHz
量子化ビット数 : 16 bits
チャンネル数 : 2 ch
AIFF/FLAC ※5/WAV
サンプリング周波数 :
32/44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz
量子化ビット数 : 16、24 bits
チャンネル数 : 2 ch
ファイルシステム : FAT12、FAT16、FAT32
PC 入力端子（EXT-IN）: 端子タイプ USB-B
USB インターフェース : USB 2.0 High-speed
USB オーディオ仕様 :
USB Audio Class 2.0、Asynchronous mode
対応フォーマット
LPCM
サンプリング周波数 :
32/44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz
量子化ビット数 : 16、24 bits
チャンネル数 : 2 ch
イーサネットインターフェース :
LAN（10 BASE-T/100 BASE-TX）
ヘッドホン端子 : ステレオミニ（3.5 mm）
音声入力端子（EXT-IN）:
ピンジャック

※1 USB 端子に何も接続されていない状態で電源を切っている場合
※2 ネットワークスタンバイが無効になっている場合
※3 MPEG-1 Layer 3、MPEG-2 Layer 3
※4 対応プロファイルは AAC-LC のみです
※5 非圧縮 FLAC ファイルの場合は、正しく動作しないことがあります。本機は 1152 から 4096 のブロックサイズに対応しています

■ **Wi-Fi/AirPlay 部**

ワイヤレス LAN 規格：	IEEE802.11a / b / g / n
周波数範囲：	2.4 GHz 帯 / 5 GHz 帯
セキュア方式：	WPA2™
WPS version：	Version 2.0

対応フォーマット（AllPlay）

MP3/AAC

サンプリング周波数：	32/44.1/48 kHz
量子化ビット数：	16 bits
チャンネル数：	2 ch

FLAC※1/ALAC/WAV

サンプリング周波数：	32/44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz
量子化ビット数：	16、24 bits
チャンネル数：	2 ch

対応フォーマット（DLNA）

MP3

サンプリング周波数：	32/44.1/48 kHz
量子化ビット数：	16 bits
チャンネル数：	2 ch

FLAC※1/WAV

サンプリング周波数：	32/44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz
量子化ビット数：	16、24 bits
チャンネル数：	2 ch

お知らせ

- この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

※1 非圧縮 FLAC ファイルの場合は、正しく動作しないことがあります。本機は 1152 から 4096 のブロックサイズに対応しています

著作権など

本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、® マークは一部記載していません。

「Made for iPod」「Made for iPhone」「Made for iPad」とは、それぞれiPod、iPhone、iPad専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。
アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
この製品とiPod、iPhone、iPad を使用する際、ワイヤレス機能に影響する場合があります。

AirPlay、iPad、iPhone、iPod、iPod nano、iPod touch、Retinaは、米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。
iPad Air、iPad miniは、Apple Inc.の商標です。
iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

App Store は Apple Inc. のサービスマークです。

Google Play、Android は、Google Inc. の商標です。

Mac、OS X および AirPort は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.

必要なとき

著作権など（続き）

“Wi-Fi CERTIFIED™”ロゴは、“Wi-Fi Alliance®”の認証マークです。
Wi-Fi Protected Setup™ 識別のマークは、“Wi-Fi Alliance®”の認証マークです。
“Wi-Fi®”は“Wi-Fi Alliance®”の登録商標です。
“Wi-Fi Protected Setup™”、“WPA™”、“WPA2™”は“Wi-Fi Alliance®”の商標です。

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。
(1) パナソニック株式会社 (パナソニック) が独自に開発したソフトウェア
(2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
(3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPLV2.0) に基づきラインセンスされたソフトウェア
(4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2. 1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
(5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記（３）～（５）に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。
詳細は、以下のウェブサイトに表示されるライセンス条件をご参照ください。
http://panasonic.jp/support/global/cs/audio/oss/all8_3_1c.html
パナソニックは、本製品の発売から少なくとも３年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。
問い合わせ窓口：
oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com
また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。
http://panasonic.net/avc/oss/

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社は、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。

Qualcomm® AllPlay™ スマートメディアプラットフォームは、クアルコム コネクティッド エクスペリエンシーズ , インコーポレイテッドの製品です。
Qualcomm は、米国およびその他の国で登録されているクアルコム インコーポレイテッドの商標であり、許可を得て使用しています。
AllPlay および AllPlay アイコンは、クアルコム コネクティッド エクスペリエンシーズ , インコーポレイテッドの商標であり、許可を得て使用しています。

FLAC Decoder
Copyright (C) 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009 Josh Coalson
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは
■ **まず、お買い求め先へご相談ください。**

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	（　　）　ー
お買い上げ日	年　月　日

修理を依頼されるときは
「こんな表示が出たら」(⇨ 36)、「故障かな！？」(⇨ 38) でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

●製品名	CD ステレオシステム
●品番	SC-PMX100
●故障の状況	できるだけ具体的に

● **保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。**
保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

● **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間　8 年

当社は、この CD ステレオシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

■ **転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。**
ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

パナソニック お客様ご相談センター
電話　365日 受付9時～20時
フリーダイヤル　パナは　365日
携帯･PHS OK
0120-878-365
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●修理に関するご相談は・・・

パナソニック 修理ご相談窓口
電話
フリーダイヤル　パナは　イイヨ
携帯･PHS OK
0120-878-554
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地域	電話番号	所在地
北海道地区		
札幌	☎(011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
旭川	☎(0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166
帯広	☎(0155)33-8478	帯広市西20条北2丁目23-3
函館	☎(0138)48-6630	函館市西桔梗町589-241
東北地区		
青森	☎(0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1
秋田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
岩手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
宮城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
山形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
福島	☎(024)991-9308	郡山市備前舘2丁目5
首都圏地区		
栃木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
群馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
茨城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
埼玉	☎(048)728-8960	熊谷市宮町1丁目29番
千葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
東京	☎(03)5477-9700	東京都杉並区本天沼3丁目43-16
山梨	☎(055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
神奈川	☎(045)847-9720	横浜市戸塚区品濃町561-4
新潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区		
石川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
富山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
福井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
長野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
静岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
愛知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
岐阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
三重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区		
滋賀	☎(077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
京都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
大阪	☎(06)7730-8888	門真市松生町1-15
奈良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市栗栖373-4
兵庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区		
鳥取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
松江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
出雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
浜田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
岡山	☎(086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
広島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
山口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区		
香川	☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
徳島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
高知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
愛媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区		
福岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
佐賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
長崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
大分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
宮崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
熊本	☎(096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
鹿児島	☎(099)246-7050	鹿児島市上谷口町3128-3
沖縄地区		
沖縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/repair/area.html

1114

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/

携帯

※このサービスはWEB限定のサービスです。

さくいん

英・数字

AirPlay.. 25
AllPlay.. 16、17、18
AM ループアンテナ.. 6、9
AUX.. 28
BASS.. 29
Bluetooth®.. 19
CD.. 21、35
DLNA.. 12、16
D.BASS.. 29
FM 簡易型アンテナ.. 6、9
iPod/iPhone/iPad.. 24、35
IP アドレス.. 33
NFC.. 19
SSID.. 12
SURROUND.. 29
TREBLE.. 29
USB.. 21、35
WAC.. 12
Wi-Fi MAC アドレス.. 34
1 曲再生.. 22

あ行

アルバム再生.. 22
オートオフ.. 31
オートチューニング.. 27
オートプリセットメモリー.. 26
屋外アンテナ.. 27
おめざめタイマー.. 30
おやすみタイマー.. 30
音質・音場.. 29

か行

聴く
- CD.. 21
- iPod/iPhone/iPad.. 24
- USB.. 21
- 外部機器.. 28
- ラジオ.. 26

工場出荷設定.. 38

さ行

サーチ.. 20、21、24
再生モード.. 22
サラウンド.. 29
充電.. 24
消音.. 10
スキップ.. 20、21、24
ストリーミング.. 16
スピーカー.. 8
選局モード.. 27
ソフトウェアの更新.. 32

た行

タイマー
- おめざめ.. 30
- おやすみ.. 30

ディマー.. 10
デジタル音声入力.. 28
時計.. 30

な行

ネットワークスタンバイ.. 32
ネットワーク設定.. 15
ネットワークの接続.. 11
ネットワークリセット.. 34

は行

表示部.. 10
プリセット EQ（イコライザー）.. 29
プリセットチューニング.. 26
プログラムプレイ.. 23
ヘッドホン.. 31

ま行

マニュアルチューニング.. 26
マニュアルメモリー.. 27
モノラル受信.. 27

ら行

ラジオ.. 26
ランダム再生.. 22
リピート再生.. 23
リモコン.. 6、10
リモコンモード.. 34

●使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://www.panasonic.com/jp/support/

パナソニック お客様ご相談センター

電話 365日 受付9時～20時

フリーダイヤル パナは 365日

0120-878-365

携帯・PHS OK

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「130 #」を押してください。
（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**
■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30
(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は・・・

パナソニック 修理サービスサイト

http://club.panasonic.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話

フリーダイヤル パナは イイヨ

0120-878-554

携帯・PHS OK

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

• 宅配便による引取・配送サービスも承っております。（保証期間内は無料）

●パナソニックスマートアプリの使いかたなどのご相談は・・・

パナソニック スマートアプリのご紹介サイト

http://panasonic.jp/pss/ap/

パソコン、スマートフォンのどちらからでもご覧になれます。

スマートフォンを使った
タッチアクセス・無線アクセス機能ご相談窓口

電話 365日 受付9時～20時

フリーダイヤル パナは ハチサンニ

0120-878-832

携帯・PHS OK

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

愛情点検 長年ご使用のCDステレオシステムの点検を!

こんな症状はありませんか	・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・音声が出ないことがある ・内部に水や異物が入った ・本体に変形や破損した部分がある ・その他の異常や故障がある

ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社
ホームエンターテインメント事業部
〒 571－8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

RQT9990-1S
F0315RK2045